

10月18日は『統計の日』です

知っていますか？『統計の日』



「統計の日」は、国民の皆様には統計調査への理解と関心を深めていただき、調査への協力をいただくことを目的に、昭和48年、政府によって定められました。

10月18日は、我が国で最初の近代的統計である「府県物産表（農林水産物と鉱工業生産物の生産高をまとめたもの）」の太政官（だじょうかん）布告が公布された日（明治3年）にちなんで制定されました。

政府統計統一 ロゴタイプについて

個人情報保護意識の高まりなどにより、統計調査を取り巻く環境が厳しさを増す中、国民の皆様が統計調査に安心して回答できる環境の整備が必要となっていることから、総務省では、統計に対する国民の理解を深めていただくための「統計の日」である10月18日

を契機として、「政府統計の統一ロゴタイプ」を決定しました。

平成24年4月1日以降、国の統計調査の調査票などにこのロゴタイプが付されています。



政府統計

このロゴタイプは、

- (1) 国の統計調査であること
- (2) 秘密の保護に万全を期していることを証明するものです。

このロゴタイプを御覧になった場合には、安心して御回答ください。

【デザインコンセプト】

- ・日本列島と日章旗をイメージしたデザイン：国の統計調査であることを認識しやすい。
- ・棒グラフをイメージしたデザインから、「統計」であることを認識しやすい。

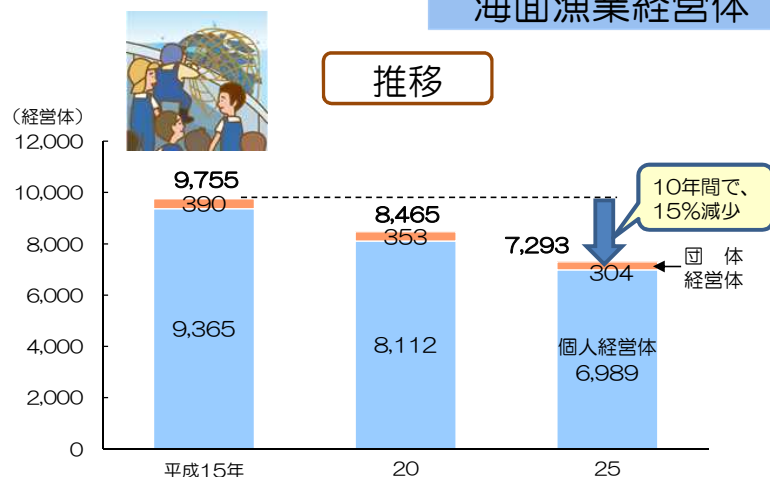
漁業センサスからみる関東の漁業

1 海面漁業（いわし、さば、かつお、まぐろ等）

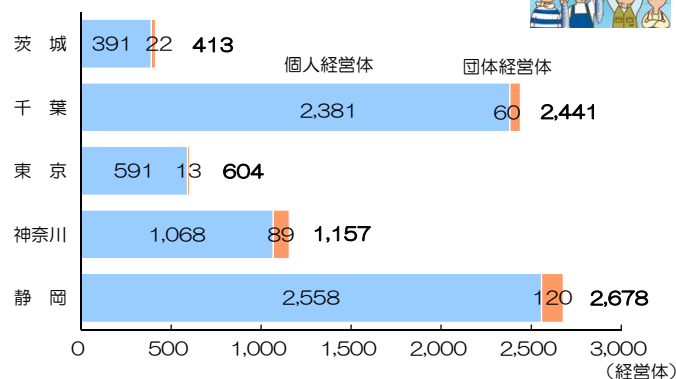


- 関東農政局管内の海面漁業経営体数（平成25年）は、7.3千経営体で、平成15年からの10年間で2.5千経営体（15%）減少しました。
 - 漁船隻数は、10.8千隻で、20年に比べ1.8千隻（14%）減少しました。
 - 漁業就業者数は、152百人で、20年に比べ25百人（14%）減少しました。
- また、年齢階層別割合は、「75歳以上」の割合が20年に比べ上昇している一方で、「25～34歳」及び「35～44歳」といった比較的若い階層も上昇しています。

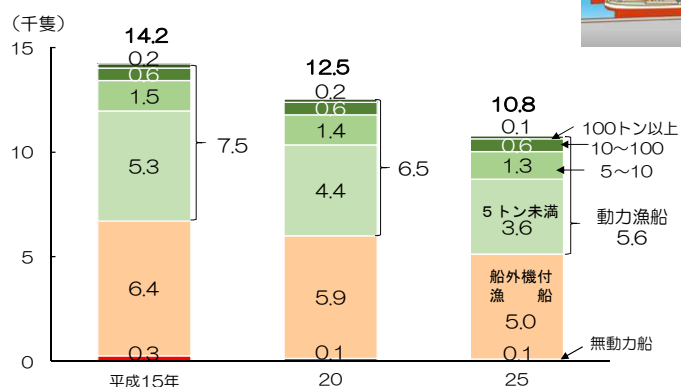
海面漁業経営体（関東局）



都県別（平成25年）



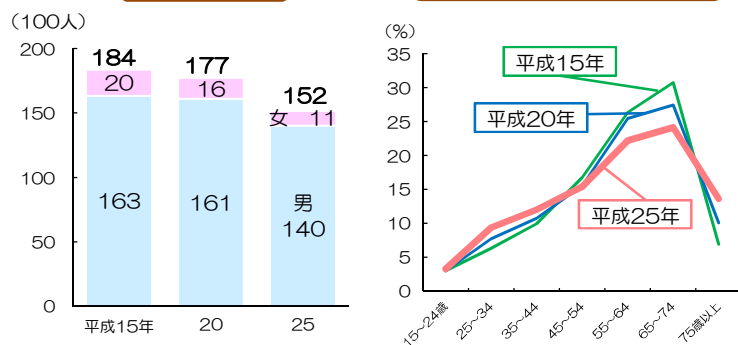
漁船隻数の推移（関東局）



漁業就業者（関東局）

推移

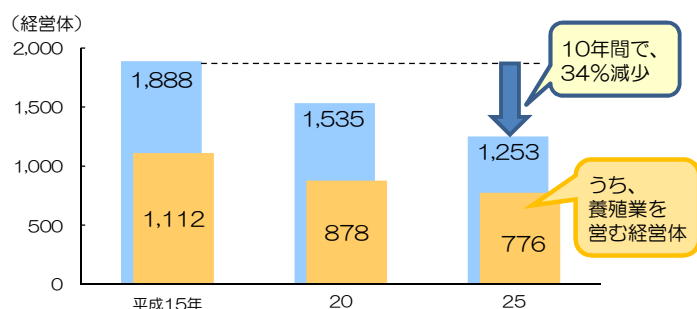
年齢階層別割合



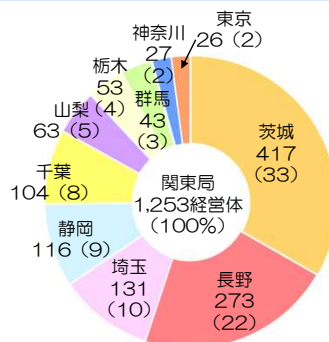
資料：農林水産省「漁業センサス」

2 内水面漁業（あゆ、しじみ、にじます、こい等）

内水面漁業経営体の推移（関東局）



内水面漁業経営体数（平成25年）



資料：農林水産省「漁業センサス」

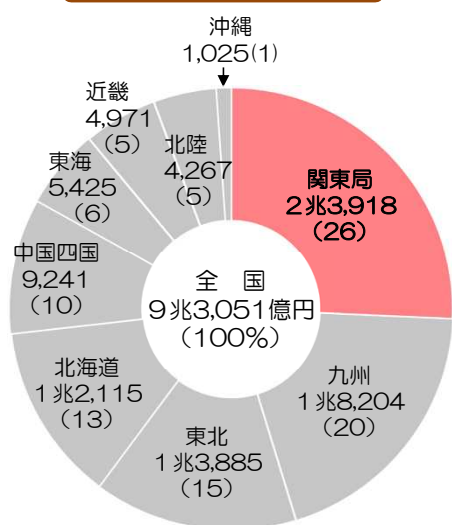
統計データからみる関東の農林水産業

1 関東農政局管内の農業産出額（1）

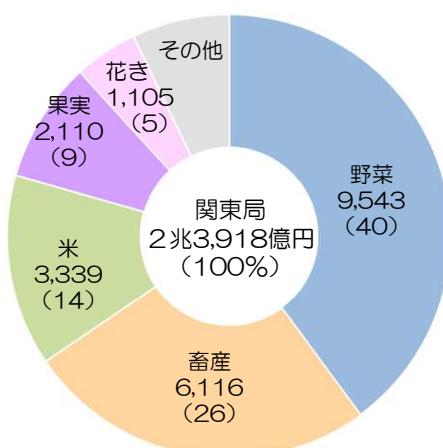
- 関東農政局管内の農業産出額は2兆3,918億円で、全国の約3割を占めています。
- 部門別では、野菜が9,543億円で最も多く、次いで畜産が6,116億円、米が3,339億円の順になっています。
- 都県別では、茨城県が4,903億円（全国2位）で最も多く、次いで千葉県が4,711億円（同4位）、栃木県が2,863億円（同9位）の順となっています。

農業産出額（平成28年）

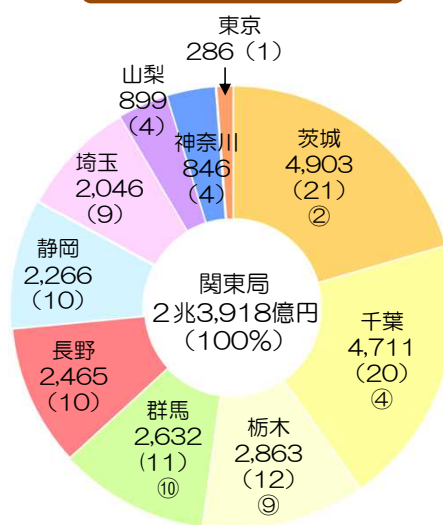
全国・農政局等別



部門別（関東局）



都県別（関東局）



注：全国の産出額は、都道府県値を積み上げたものである。

○数値は、都道府県順位です。

（農業産出額からみた関東局農業の特徴）

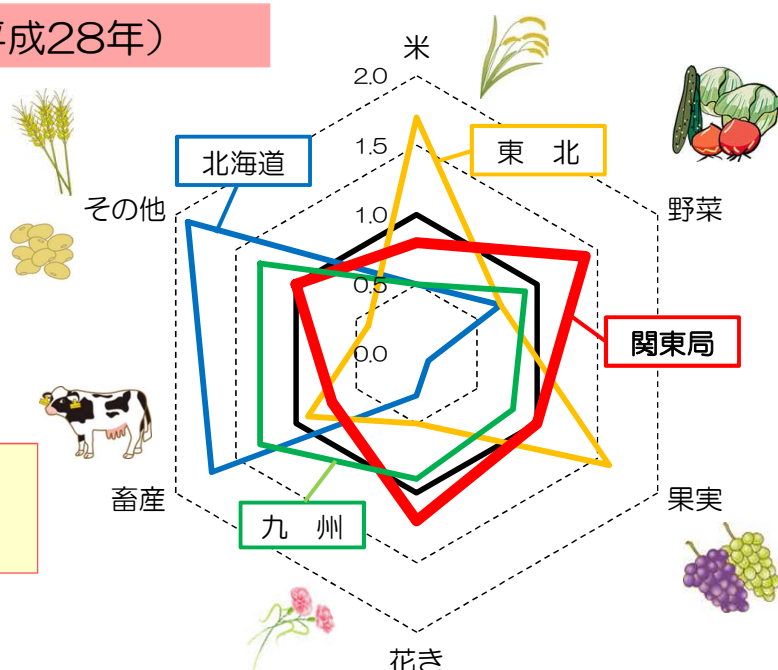
- 関東農政局管内の主要部門別の特化係数をみると、「野菜部門」が1.4で他ブロック（他農政局等管轄区域）と比べ最も高くなっており、野菜部門の比重が大きいことが特徴です。
- また、関東局は他ブロックと比較すると突出して特化している部門がなく、おおむねバランスがとれたものとなっています。

主要部門別特化係数（平成28年）

農政局等	米	野菜	果実	花き	畜産	その他
北海道	0.5	0.7	0.1	0.3	1.7	1.9
東北	1.7	0.7	1.6	0.5	0.9	0.4
関東局	0.8	1.4	1.0	1.2	0.7	1.0
北陸	3.3	0.5	0.4	0.7	0.5	0.4
東海	0.8	1.1	0.7	3.3	0.9	0.7
近畿	1.4	0.9	2.0	1.0	0.6	0.8
中国四国	1.0	1.1	1.7	0.9	0.9	0.6
九州	0.5	0.9	0.8	0.9	1.3	1.3

その他は、麦類、豆類、いも類、工芸農作物等である。

- 主要部門別特化係数は、ブロック別部門別の構成比を全国部門別の構成比で除し算出しています。
- 「1.0」を超えるほど、その部門が特化しています。

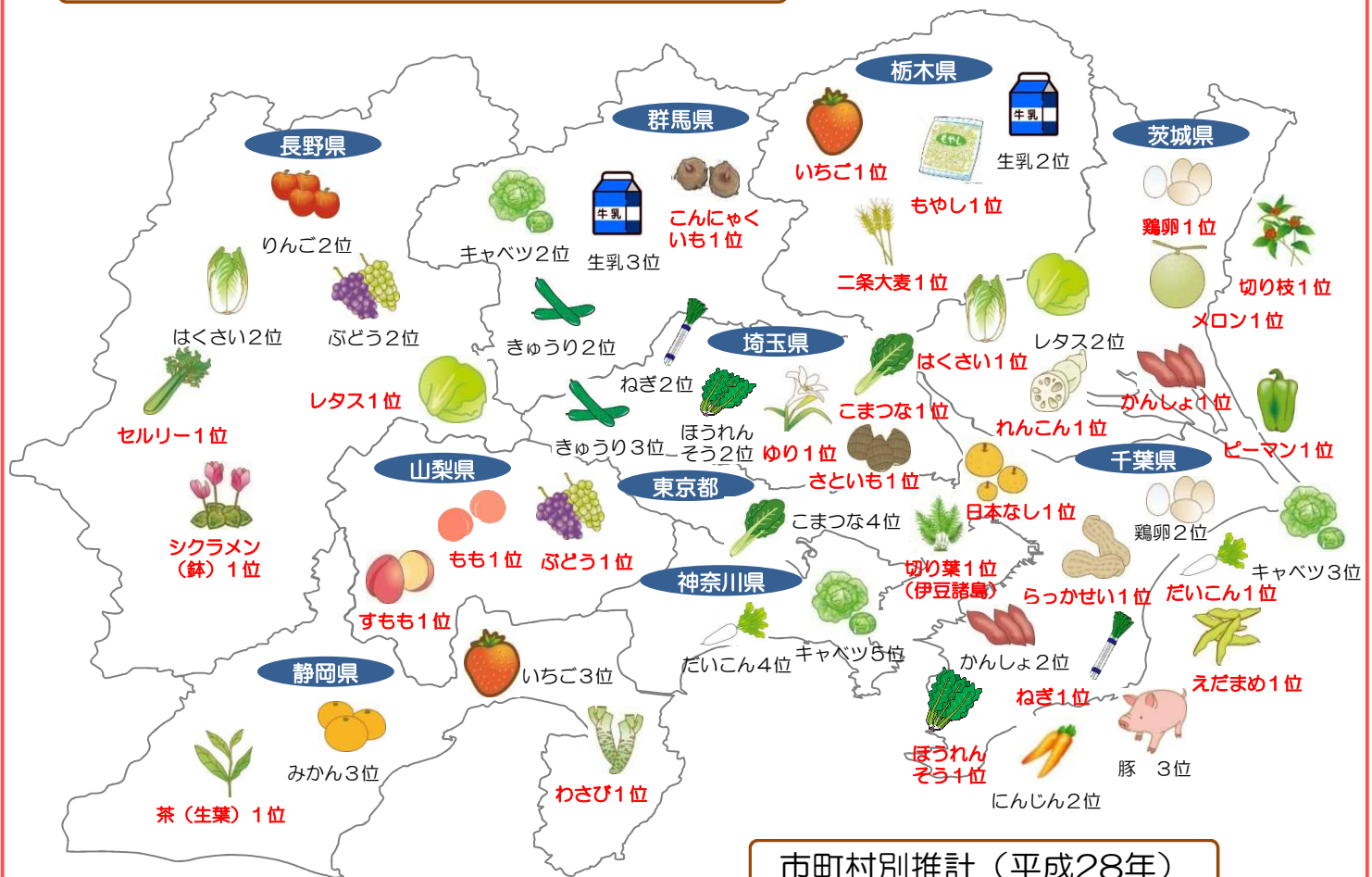


資料：農林水産省「生産農業所得統計」

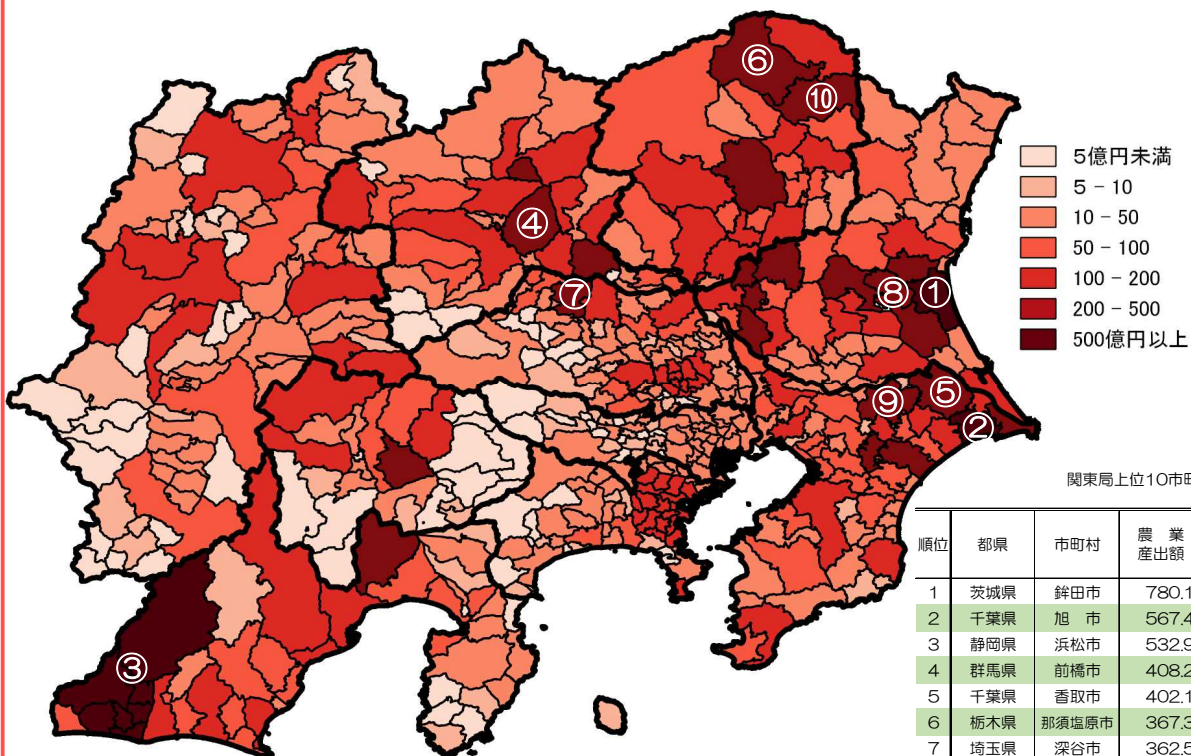
統計データからみる関東の農林水産業

1 関東農政局管内の農業産出額（2）

農業産出額が全国の上位の品目（平成28年）



市町村別推計（平成28年）



関東局上位10市町村（平成28年）

単位：億円

順位	都県	市町村	農業 産出額	第1位部門		第2位部門	
				部門	産出額	部門	産出額
1	茨城県	鉦田市	780.1	野菜	452.5	豚	140.1
2	千葉県	旭市	567.4	野菜	206.1	豚	188.7
3	静岡県	浜松市	532.9	果実	177.2	野菜	146.7
4	群馬県	前橋市	408.2	豚	97.2	野菜	94.7
5	千葉県	香取市	402.1	野菜	93.5	いも類	80.1
6	栃木県	那須塩原市	367.3	生乳	155.6	野菜	60.0
7	埼玉県	深谷市	362.5	野菜	224.3	花き	30.0
8	茨城県	小美玉市	354.2	鶏卵	152.9	野菜	98.1
9	千葉県	成田市	296.8	豚	97.8	いも類	89.7
10	栃木県	大田原市	288.1	野菜	82.3	米	73.5

資料：農林水産省「生産農業所得統計」、市町村別農業産出額（推計）

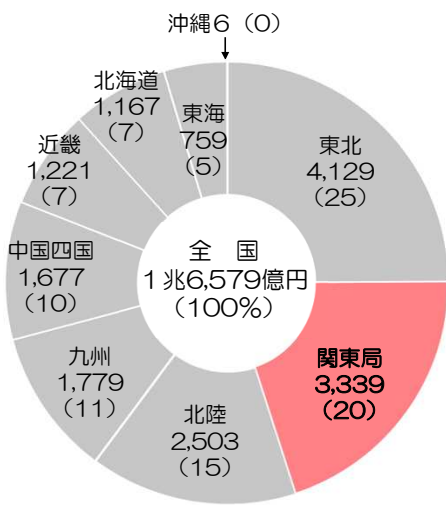
統計データからみる関東の農林水産業

2 関東農政局管内の米（１）

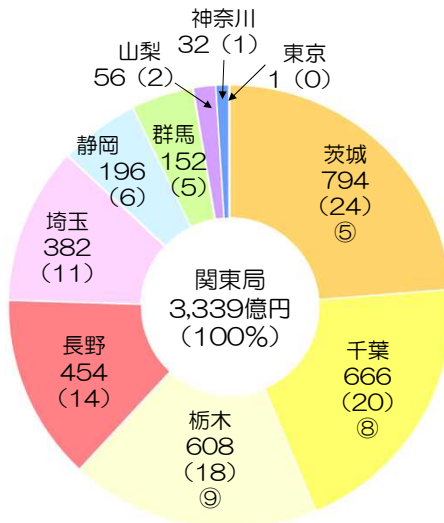
- 関東農政局管内の米の産出額（平成28年）は3,339億円で、全国の2割を占めています。
- 都県別にみると、茨城県が794億円（全国5位）で最も多く、次いで千葉県が666億円（同8位）、栃木県が608億円（同9位）の順となっています。
- 産出額計に占める米部門の割合は14%で、全国平均と比べ4ポイント低くなっています。

米の産出額（平成28年）

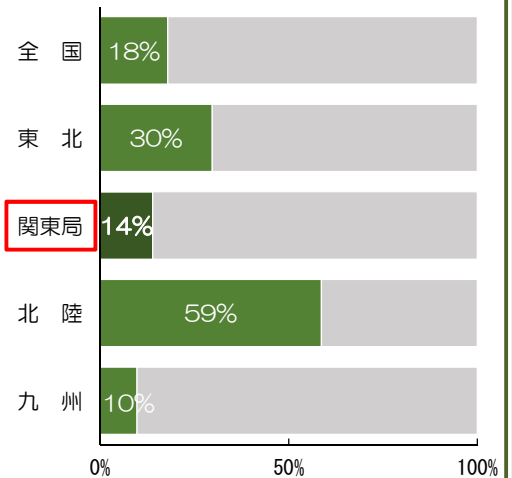
全国・農政局等別



都県別（関東局）

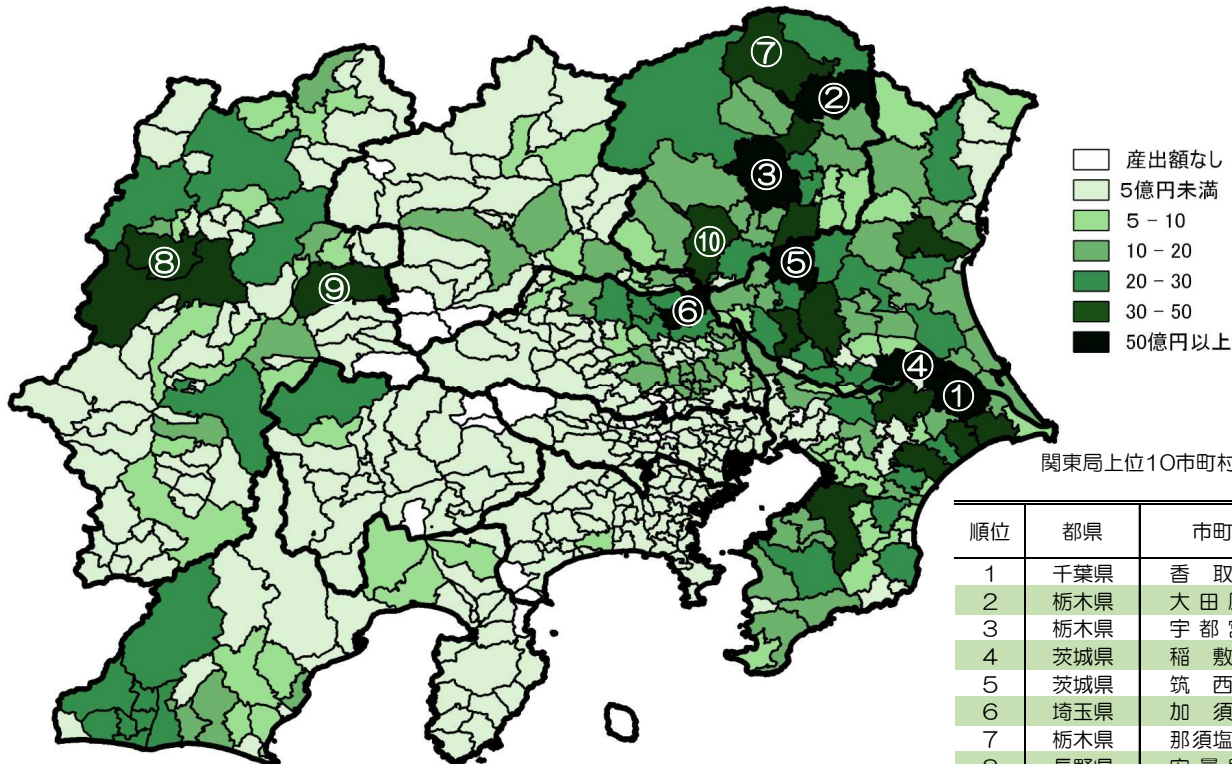


米が占める割合（農政局等別）



○数値は、都道府県順位です。

市町村別推計（関東局）



関東局上位10市町村（平成28年）

単位：億円

順位	都県	市町村	産出額
1	千葉県	香取市	76.4
2	栃木県	大田原市	73.5
3	栃木県	宇都宮市	67.8
4	茨城県	稲敷市	65.4
5	茨城県	筑西市	61.3
6	埼玉県	加須市	57.3
7	栃木県	那須塩原市	48.9
8	長野県	安曇野市	44.1
9	長野県	佐久市	42.7
10	栃木県	栃木市	42.5

資料：農林水産省「生産農業所得統計」、市町村別農業産出額（推計）

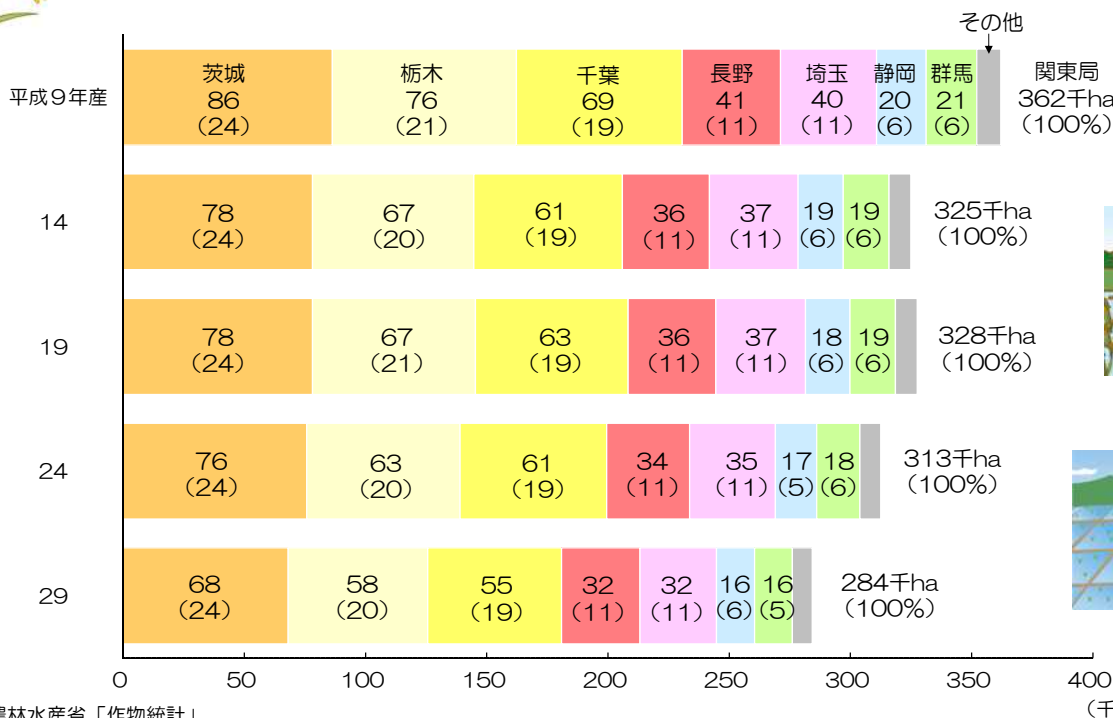
統計データからみる関東の農林水産業

2 関東農政局管内の米（2）

- 関東農政局管内の水稻（子実用）の作付面積（平成29年産）は284千haで、平成24年産に比べ28千ha（9％）減少しています。

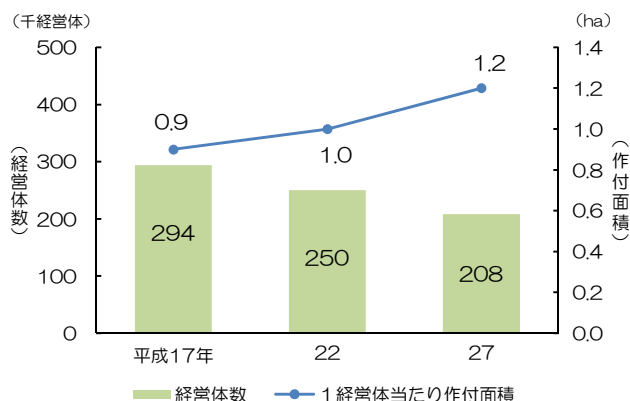


水稻の作付面積の推移（関東局）

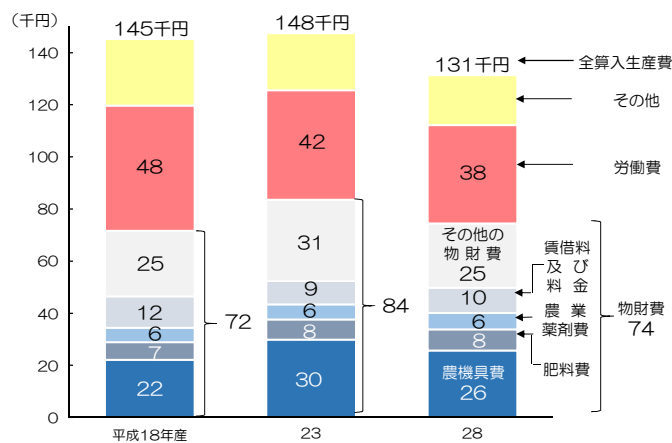


- 関東農政局管内の販売目的で水稻を作付けした経営体（平成27年）は208千経営体で、平成22年に比べ43千経営体（17％）減少したものの、1経営体当たりの作付面積は1.2haで、22年に比べ0.2ha増加しました。
- 米の10a当たり全算入生産費（平成28年産）は131千円で、23年産に比べ16千円（11％）減少しています。

販売目的で水稻を作付けした経営体数及び1経営体当たりの作付面積（関東局）



米の10a当たり生産費（生産コスト）の推移（関東局）



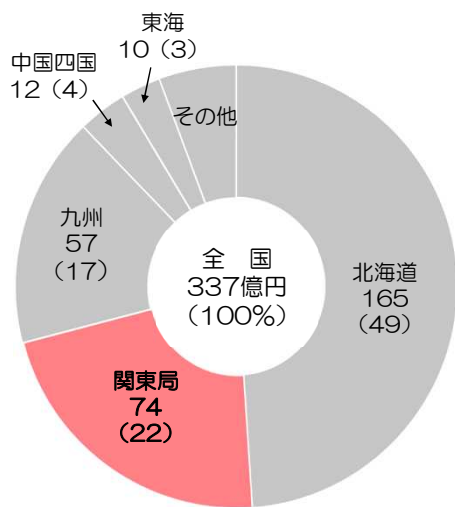
統計データからみる関東の農林水産業

3 関東農政局管内の麦類

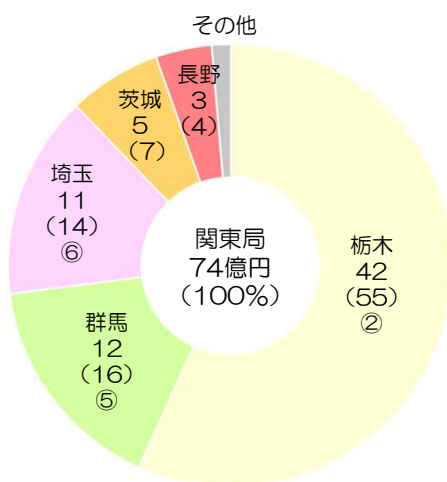
- 関東農政局管内の麦類の産出額（平成28年）は74億円（注で、全国の約2割を占めています）。
- 県別にみると、栃木県が42億円（全国2位）で最も多く、次いで群馬県が12億円（同5位）、埼玉県が11億円（同6位）の順となっています。
- 品目別にみると、二条大麦が50億円で最も多く、次いで小麦が20億円の順となっています。

麦類の産出額（平成28年）

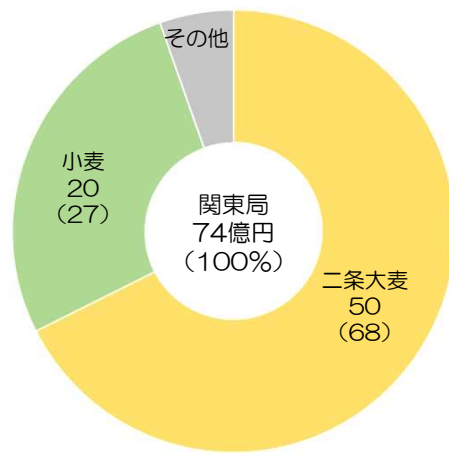
全国・農政局等別



都県別（関東局）



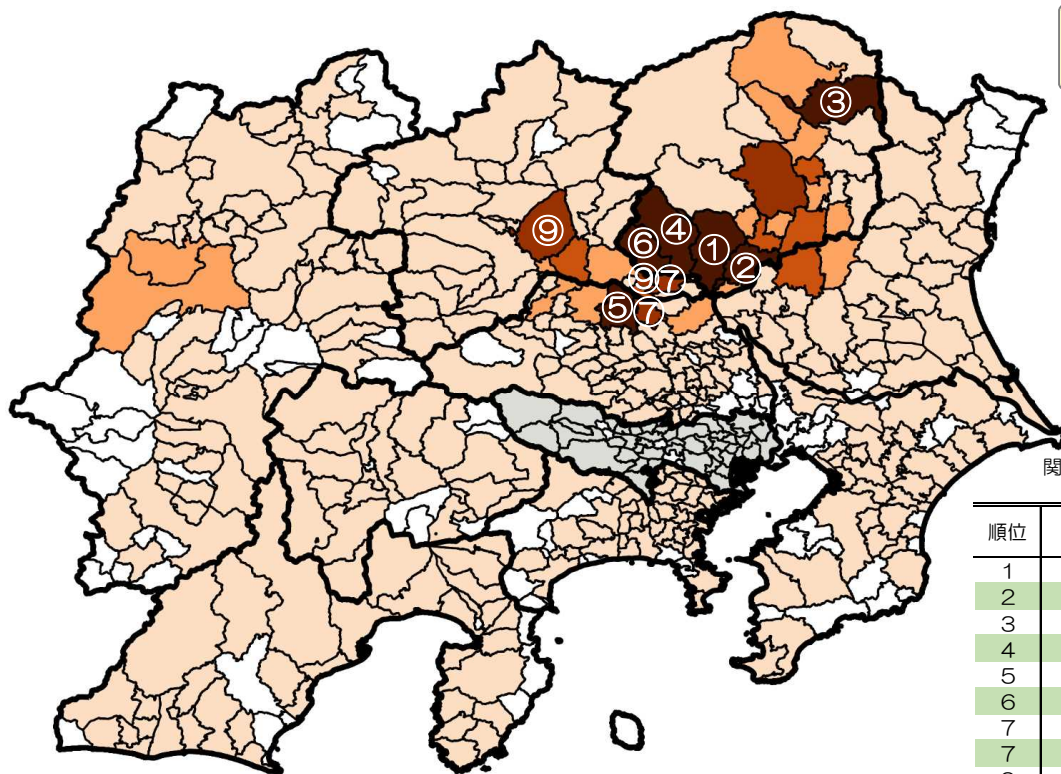
品目別（関東局）



○数値は、都道府県順位です。

注：麦類の関東局の産出額は、東京都を除いた関東局各県の産出額（億円単位）の合計値である。

市町村別推計（関東局）



小麦の主な用途
（麺、パン、菓子）

二条大麦の主な用途
（ビール、焼酎）

- 秘匿措置
- 産出額なし
- 5,000万円未満
- 5,000万 - 1億
- 1 - 2
- 2 - 3
- 3億円以上

関東局上位10市町村（平成28年）

単位：億円

順位	都県	市町村	産出額
1	栃木県	栃木市	9.8
2	栃木県	小山市	6.7
3	栃木県	大田原市	4.2
4	栃木県	佐野市	3.8
5	埼玉県	熊谷市	3.4
6	栃木県	足利市	3.3
7	群馬県	館林市	2.5
7	埼玉県	行田市	2.5
9	群馬県	前橋市	2.4
9	群馬県	邑楽町	2.4

資料：農林水産省「生産農業所得統計」、市町村別農業産出額（推計）

統計データからみる関東の農林水産業

4 関東農政局管内の豆類

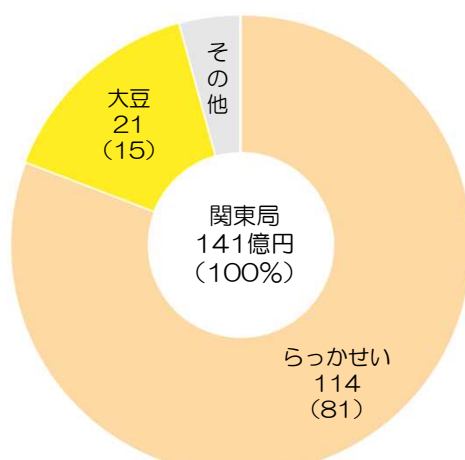
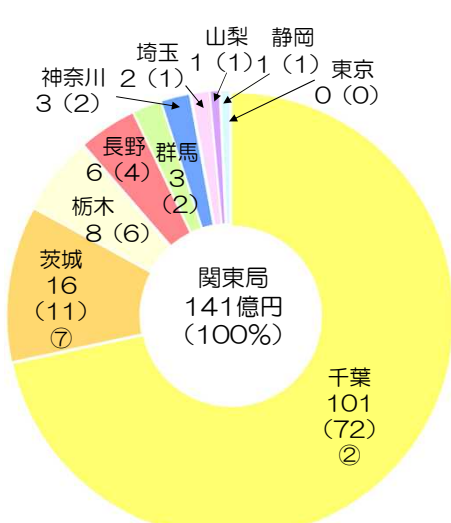
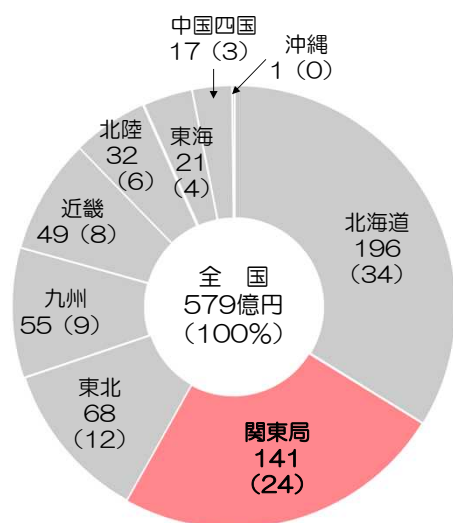
- 関東農政局管内の豆類の産出額（平成28年）は141億円で全国の約2割を占めています。
- 都県別にみると、千葉県が101億円（全国2位）で最も多く、次いで茨城県が16億円（同7位）、栃木県が8億円の順となっています。
- 品目別にみると、らっかせいが114億円で最も多く、次いで大豆が21億円の順となっています。

豆類の産出額（平成28年）

全国・農政局等別

都県別（関東局）

品目別（関東局）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

○数値は、都道府県順位です。

- 関東農政局管内の大豆の作付面積（平成29年産）は11千haで、全国の7%となっており、都県別にみると茨城県が最も多く、次いで栃木県、長野県の順となっています。
- 主産県（関東局）のらっかせいの作付面積をみると、千葉県が51百haで全国1位、茨城県が6百haで同2位となっています。

豆類の作付面積



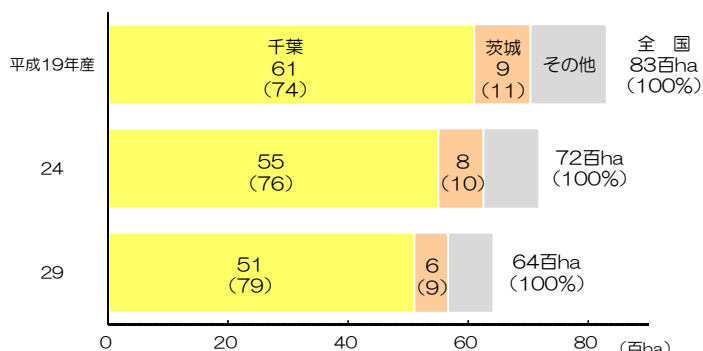
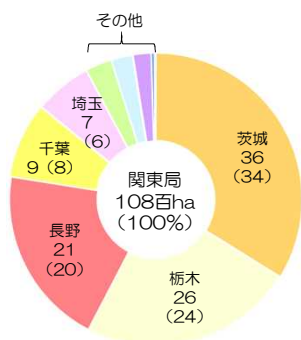
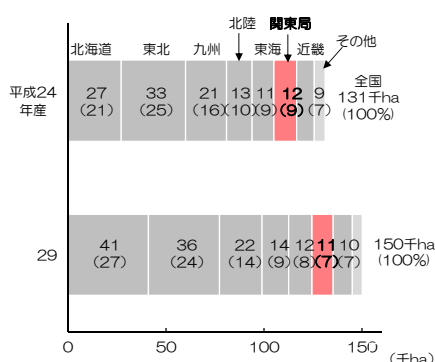
大豆

らっかせい（推移）



推移（全国・農政局）

関東局（平成29年産）



資料：農林水産省「作物統計」

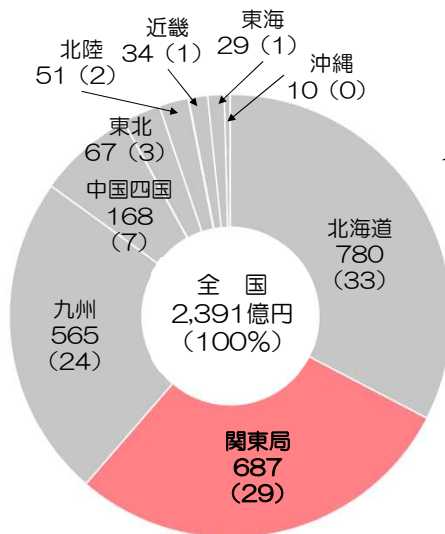
統計データからみる関東の農林水産業

5 関東農政局管内のいも類

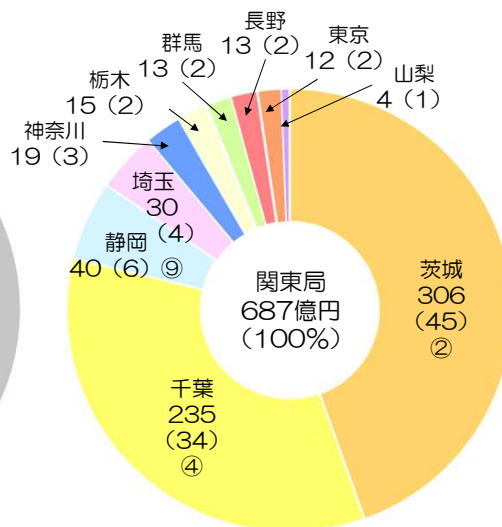
- 関東農政局管内のいも類の産出額（平成28年）は687億円で全国の約3割を占めています。
- 都県別にみると、茨城県が306億円（全国2位）で最も多く、次いで千葉県が235億（同4位）、静岡県が40億円（同9位）の順となっています。
- 品目別にみると、かんしょが515億円で最も多く、次いでばれいしょが172億円の順となっています。

いも類の産出額（平成28年）

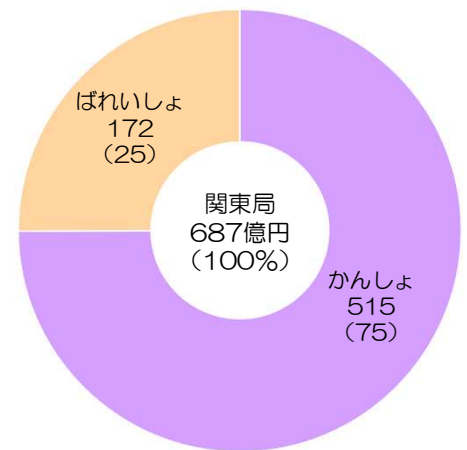
全国・農政局等別



都県別（関東局）



品目別（関東局）



○数値は、都道府県順位です。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

- 関東農政局管内のばれいしょの作付面積（平成28年産）は7千haで、全国の9%となっており、都県別にみると茨城県が最も多く、次いで千葉県、長野県の順となっています。
- 主産県（関東局）のかんしょの作付面積（平成29年産）をみると、茨城県が7千haで全国2位、千葉県が4千haで同3位となっています。

いも類の作付面積

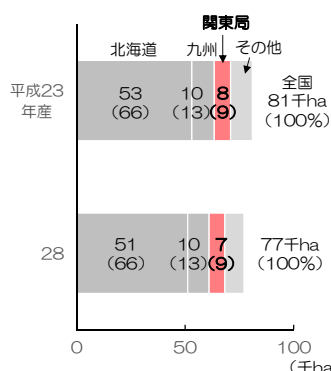


ばれいしょ

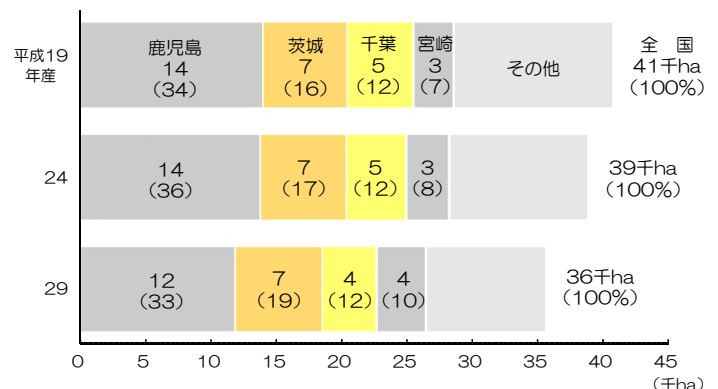
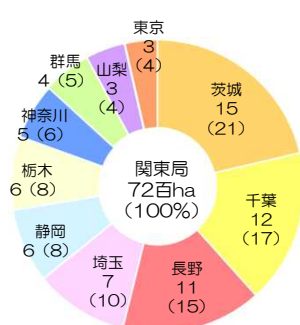


かんしょ（推移）

推移（全国・農政局）



関東局（平成28年産）



資料：農林水産省「作物統計」、「野菜生産出荷統計」

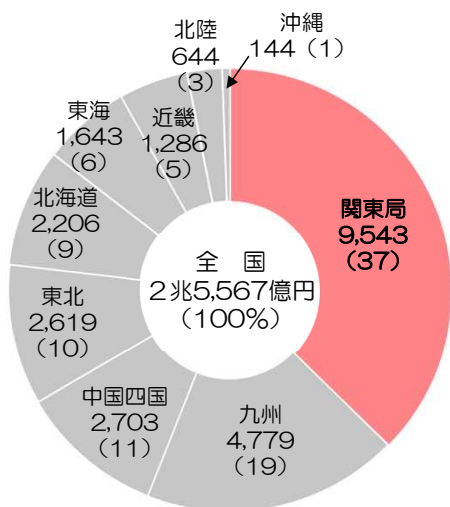
統計データからみる関東の農林水産業

6 関東農政局管内の野菜（１）

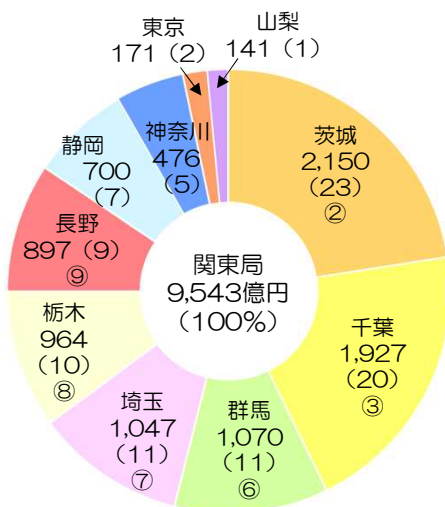
- 関東農政局管内の野菜の産出額（平成28年）は9,543億円と全国の約4割を占めています。
 - 都県別にみると、茨城県が2,150億円（全国2位）で最も多く、次いで千葉県が1,927億円（同3位）、群馬県が1,070億円（同6位）の順となっています。
- また、各都県の産出額計に占める野菜部門の割合をみると、山梨県を除く各都県で3割を超えています。

野菜の産出額（平成28年）

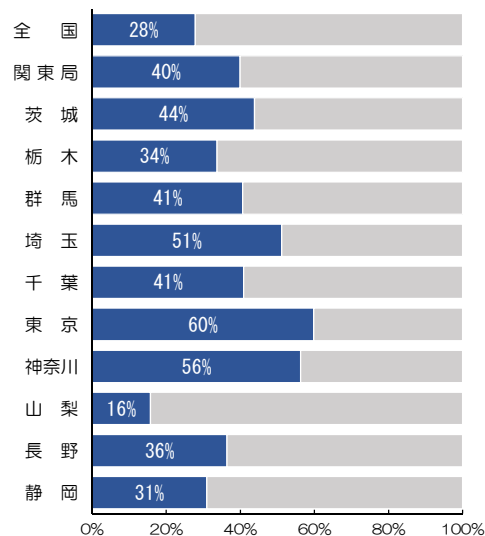
全国・農政局等別



都県別（関東局）

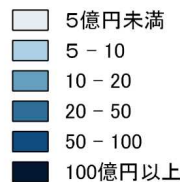
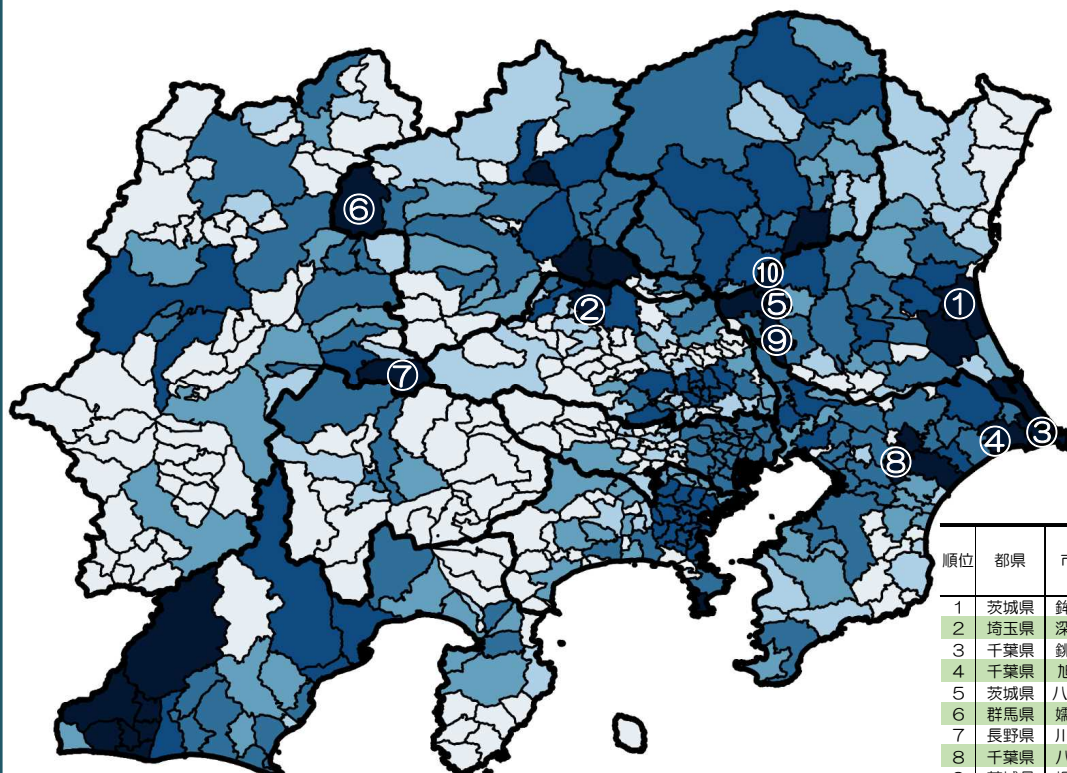


野菜部門が占める割合



○数値は、都道府県順位です。

市町村別推計（関東局）



関東局上位10市町村（平成28年）

単位：億円

順位	都県	市町村	産出額	第1位品目		第2位品目	
				品目	産出額	部門	産出額
1	茨城県	鉾田市	452.5	メロン	84.7	トマト	67.0
2	埼玉県	深谷市	224.3	ねぎ	88.4	きゅうり	35.4
3	千葉県	銚子市	217.8	キャベツ	96.6	だいこん	62.7
4	千葉県	旭市	206.1	きゅうり	42.5	トマト	23.4
5	茨城県	八千代町	205.0	はくさい	72.9	レタス	32.0
6	群馬県	嬬恋村	169.6	キャベツ	161.0	はくさい	1.2
7	長野県	川上村	165.6	レタス	109.1	はくさい	41.0
8	千葉県	八街市	160.8	にんじん	31.2	さといも	24.3
9	茨城県	坂東市	155.6	レタス	57.0	ねぎ	51.9
10	茨城県	結城市	147.0	はくさい	56.6	レタス	25.3

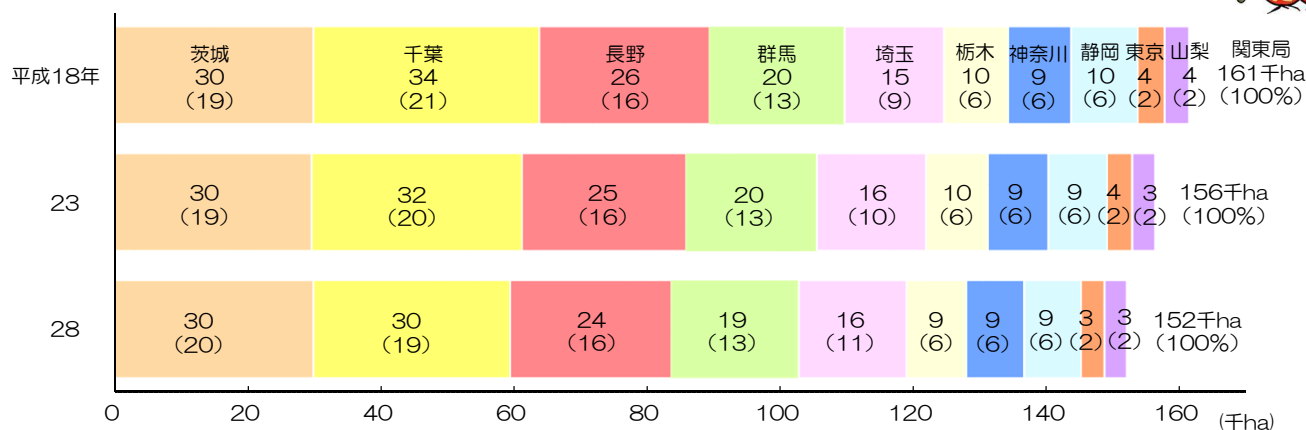
資料：農林水産省「生産農業所得統計」、市町村別農業産出額（推計）

統計データからみる関東の農林水産業

6 関東農政局管内の野菜（2）

○ 関東農政局管内の野菜の作付延べ面積（平成28年）は152千haで、平成23年に比べて4千ha（3%）減少しています。

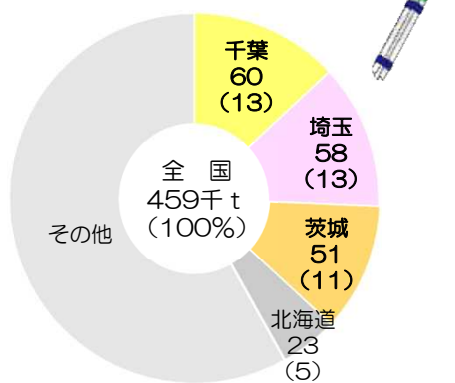
野菜の作付延べ面積の推移



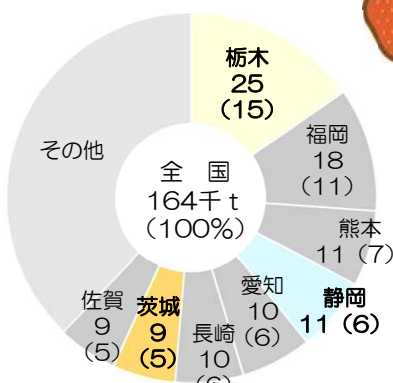
資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

都県（関東局）の収穫量が全国1位となっている主な品目（平成29年産）

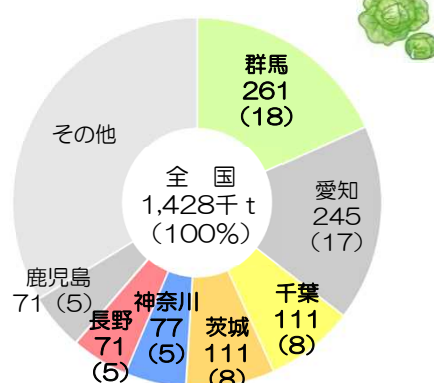
ねぎ



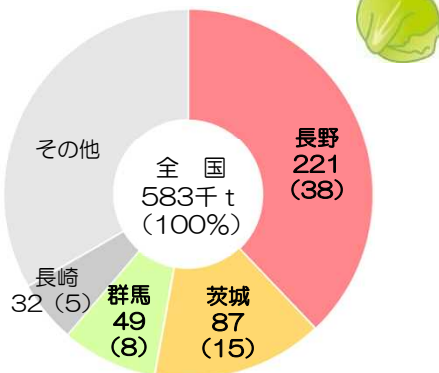
いちご



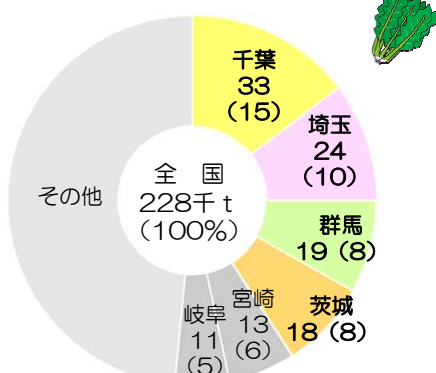
キャベツ



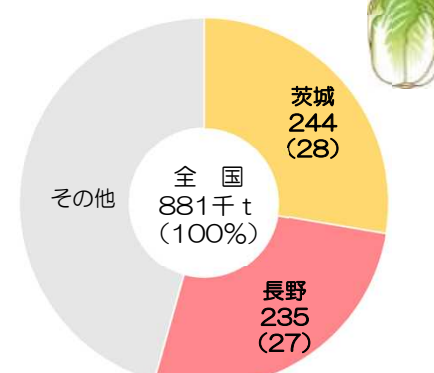
レタス



ほうれんそう



はくさい



資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

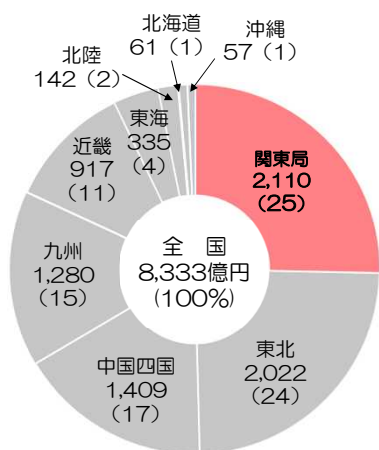
統計データからみる関東の農林水産業

7 関東農政局管内の果樹

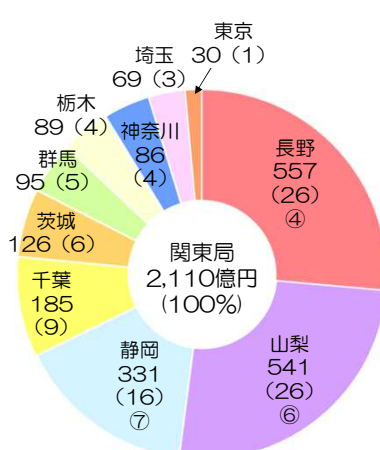
- 関東農政局管内の果実の産出額（平成28年）は2,110億円で全国の約3割を占めています。
- 都県別にみると、長野県が557億円（全国4位）で最も多く、次いで山梨県が541億円（同6位）、静岡県が331億円（同7位）の順となっています。
- 品目別にみると、ぶどうが509億円で最も多く、次いで日本なしが410億円、りんごが321億円の順となっています。

果実の産出額（平成28年）

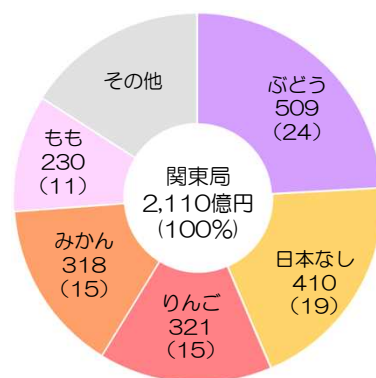
全国・農政局等別



都県別（関東局）



品目別（関東局）

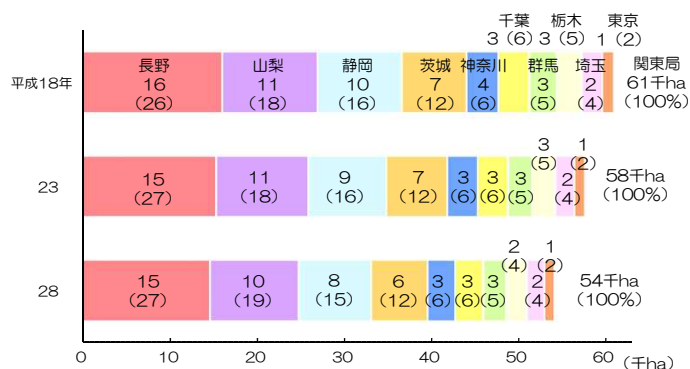


○数値は、都道府県順位です。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

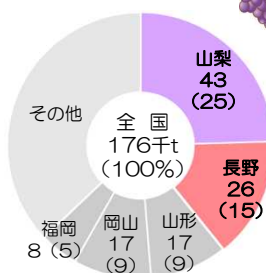
- 関東局の果樹の栽培面積（平成28年）は54千haで、平成23年に比べ4千ha減少しています。
- 都県別にみると、長野県が最も多く、次いで山梨県、静岡県の順となっています。

果樹の栽培面積の推移

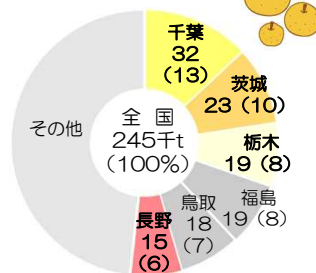


都県（関東局）の収穫量が全国上位となっている主な品目（平成29年産）

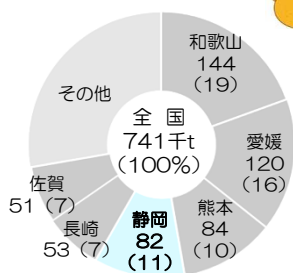
ぶどう



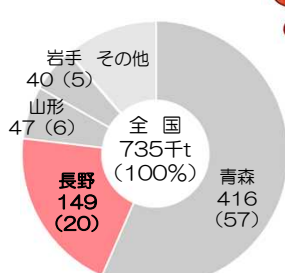
日本なし



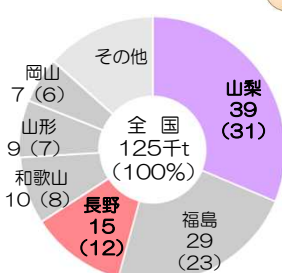
みかん



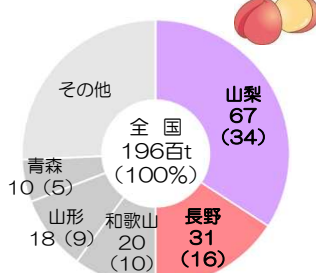
りんご



もも



すもも



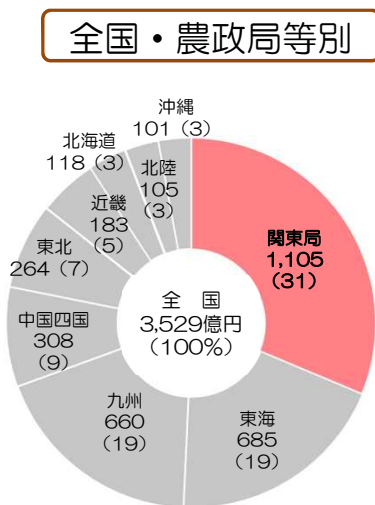
資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、「果樹生産出荷統計」

統計データからみる関東の農林水産業

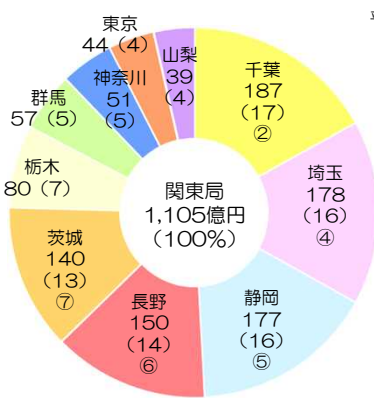
8 関東農政局管内の花き

- 関東農政局管内の花きの産出額（平成28年）は1,105億円で全国の約3割を占めています。
- 都県別にみると、千葉県が187億円（全国2位）で最も多く、次いで埼玉県が178億円（同4位）、静岡県が177億円（同5位）の順となっています。
- 関東局の花きの作付（収穫）面積（平成28年産）は5.0千haで、25年産に比べて0.3千ha減少しています。

花きの産出額（平成28年）



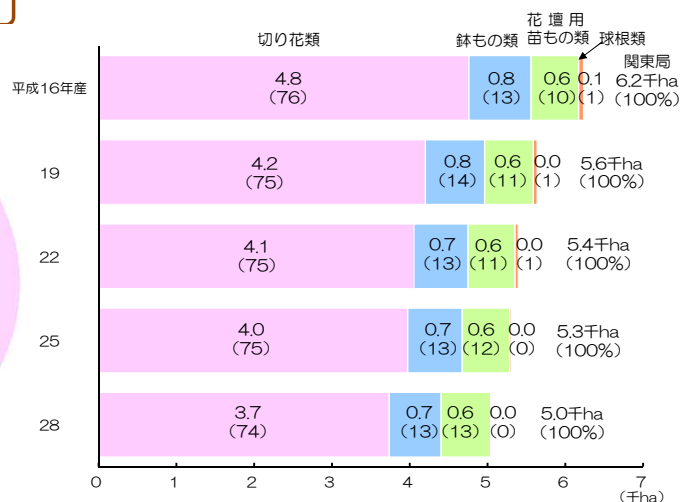
都県別（関東局）



○数値は、都道府県順位です。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

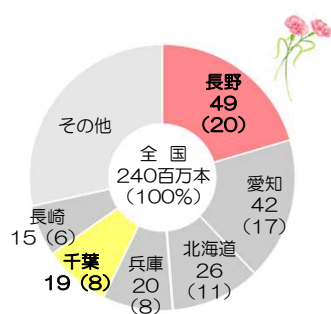
花きの作付（収穫）面積の推移（関東局）



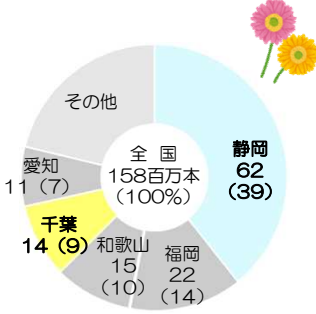
資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

都県（関東局）の出荷量が全国1位となっている主な品目（平成29年産）

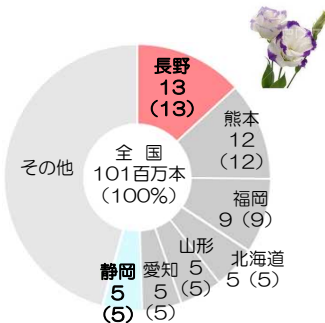
カーネーション



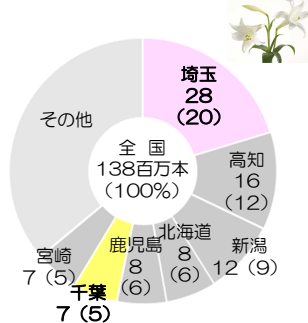
ガーベラ



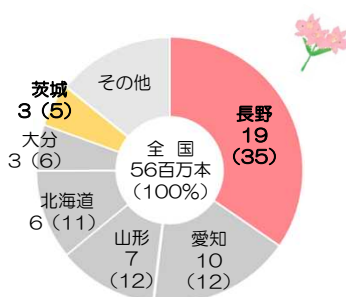
トルコギキョウ



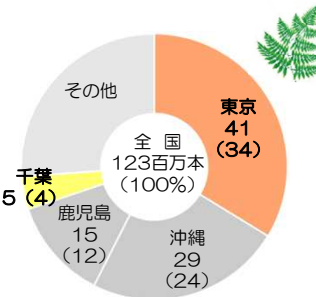
ゆり



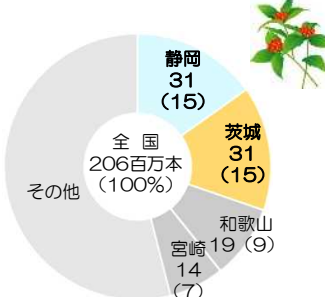
アルストロメリア



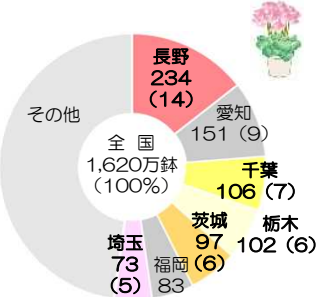
切り葉



切り枝



シクラメン（鉢）



資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

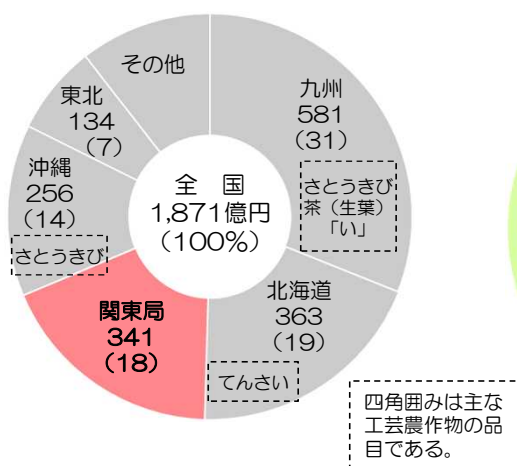
統計データからみる関東の農林水産業

9 関東農政局管内の工芸農作物

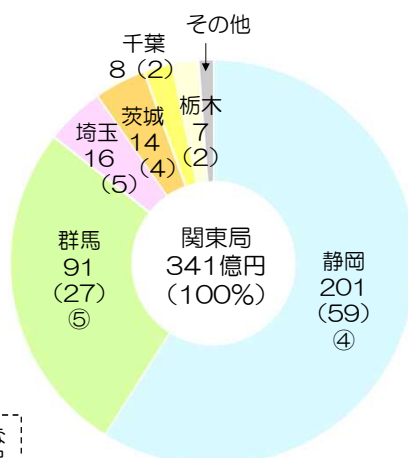
- 関東農政局管内の工芸農作物の産出額（平成28年）は341億円で全国の約2割を占めています。
- 都県別にみると、静岡県が201億円（全国4位）で最も多く、次いで群馬県が91億円（同5位）の順となっています。
- 品目別にみると、茶（生葉）が220億円で最も多く、次いでこんにゃくいもが97億円の順となっています。

工芸農作物の産出額（平成28年）

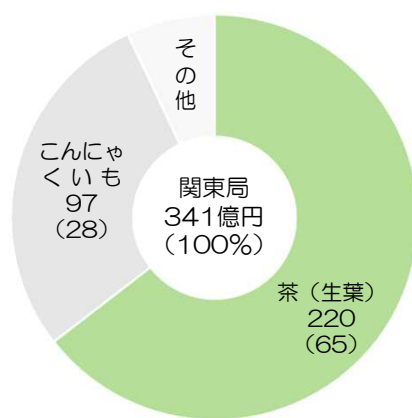
全国・農政局等別



都県別（関東局）



品目別（関東局）



○数値は、都道府県順位です。

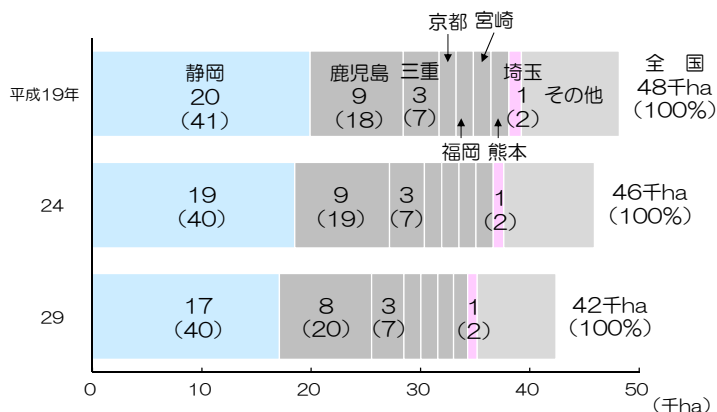
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

- 主産県（関東局）の茶の栽培面積（平成29年）をみると、静岡県が17千haで全国1位となっています。
- 主産県（関東局）のこんにゃくいもの栽培面積（平成29年産）をみると、群馬県が34百haで全国1位となっています。

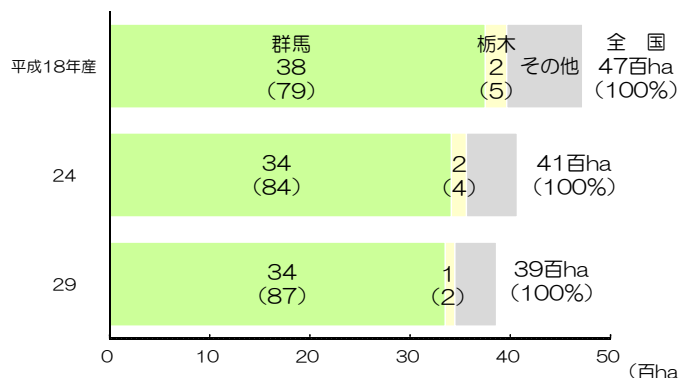
工芸農作物の栽培面積の推移



茶



こんにゃくいも



資料：農林水産省「作物統計」

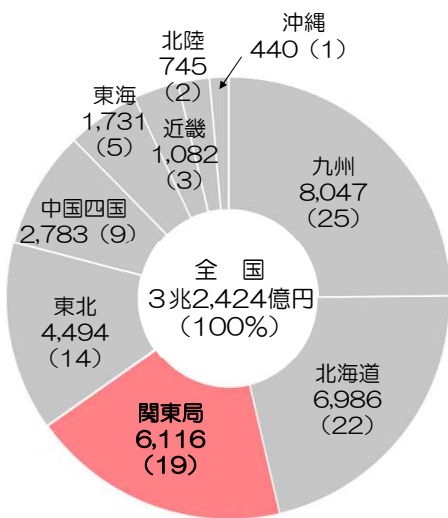
統計データからみる関東の農林水産業

10 関東農政局管内の畜産（1）

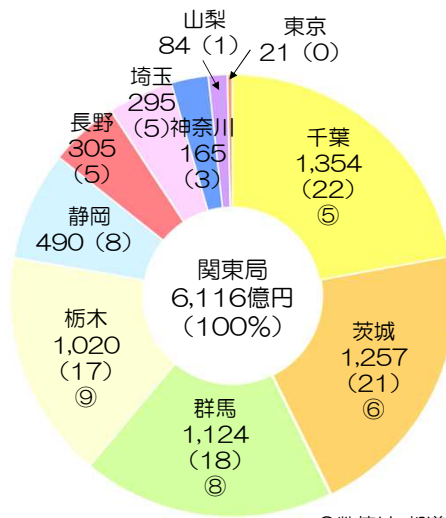
- 関東農政局管内の畜産の産出額（平成28年）は6,116億円で全国の約2割を占めています。
- 都県別にみると、千葉県が1,354億円（全国5位）で最も多く、次いで茨城県が1,257億円（同6位）、群馬県が1,124億円（同8位）の順となっています
- 部門別にみると、豚が1,823億円で最も多く、次いで乳用牛が1,621億円、鶏卵が1,410億円の順となっています。

畜産の産出額（平成28年）

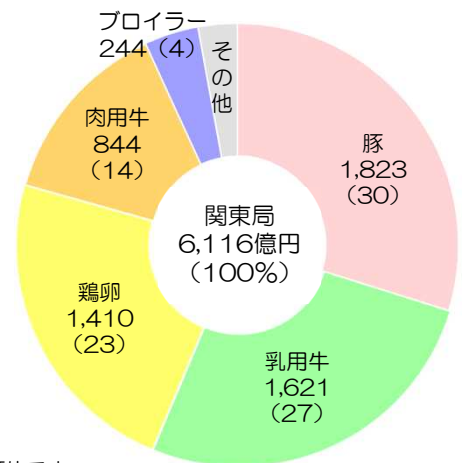
全国・農政局等別



都県別（関東局）

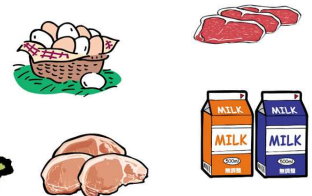
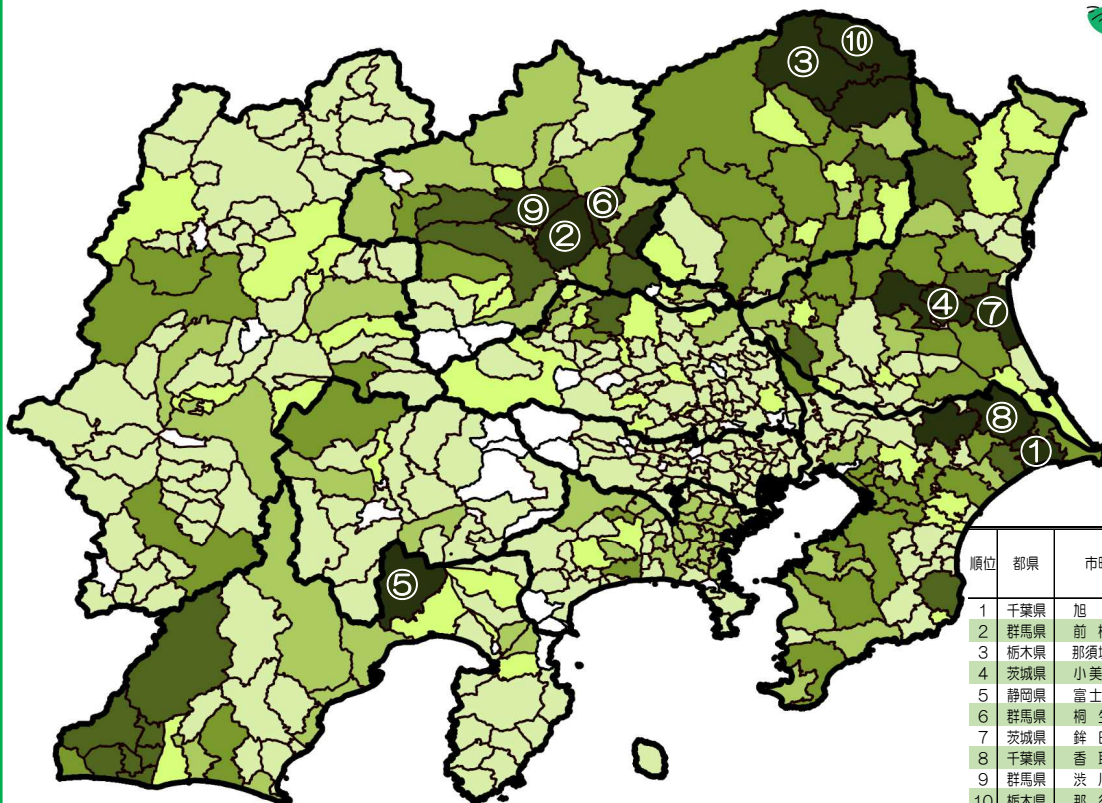


部門別（関東局）



○数値は、都道府県順位です。

市町村別推計（関東局）



- 産出額なし
- 5億円未満
- 5 - 10
- 10 - 20
- 20 - 50
- 50 - 100
- 100億円以上

関東局上位10市町村（平成28年）

単位：億円

順位	都県	市町村	産出額	第1位品目		第2位品目	
				部門	産出額	部門	産出額
1	千葉県	旭市	294.2	豚	188.7	鶏卵	54.8
2	群馬県	前橋市	265.1	豚	97.2	生乳	69.6
3	栃木県	那須塩原市	246.2	生乳	155.6	豚	44.3
4	茨城県	小美玉市	220.9	鶏卵	152.9	生乳	37.2
5	静岡県	富士宮市	187.0	鶏卵	95.2	生乳	43.0
6	群馬県	桐生市	171.5	豚	146.6	生乳	9.7
7	茨城県	鉾田市	165.1	豚	140.1	鶏卵	14.5
8	千葉県	香取市	134.6	鶏卵	53.2	豚	44.6
9	群馬県	渋川市	126.0	豚	61.3	...	...
10	栃木県	那須町	124.4	生乳	45.9	肉用牛	32.4

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

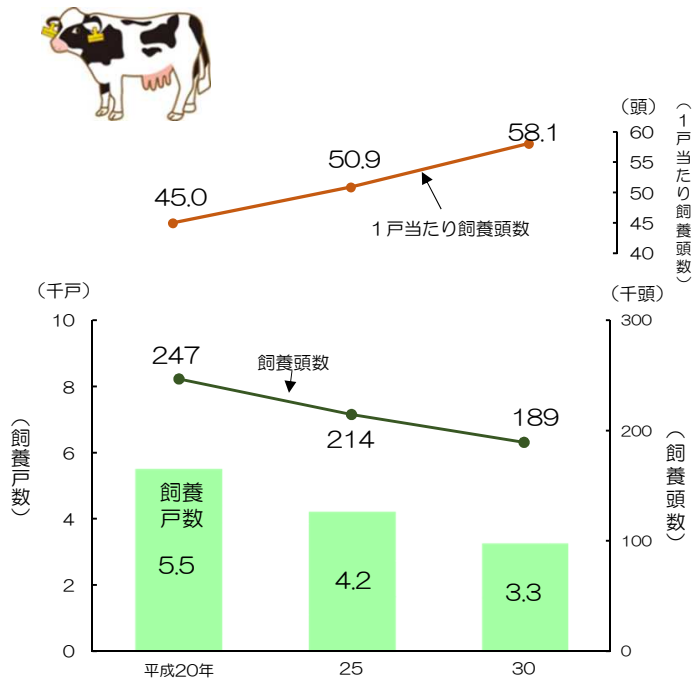
統計データからみる関東の農林水産業

10 関東農政局管内の畜産（2）

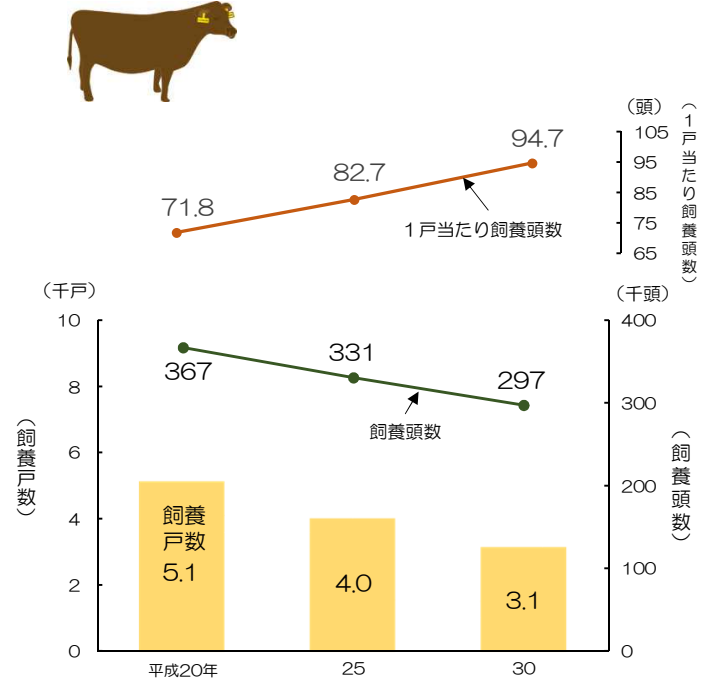
○ 各畜種とも、飼養戸数及び飼養頭数は減少傾向で推移しているものの、規模拡大等により1戸当たり飼養頭羽数は増加傾向で推移しています。

畜種別の飼養戸数、飼養頭数及び1戸当たり飼養頭羽数の推移（関東局）

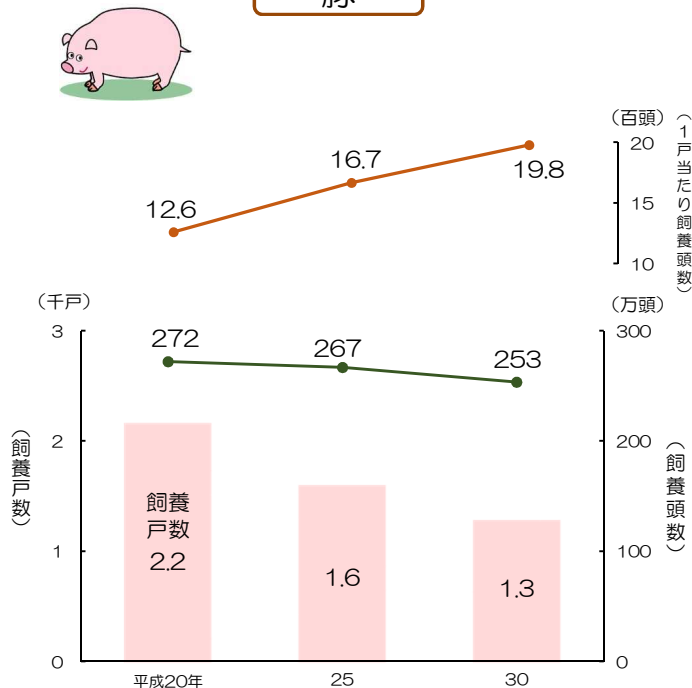
乳用牛



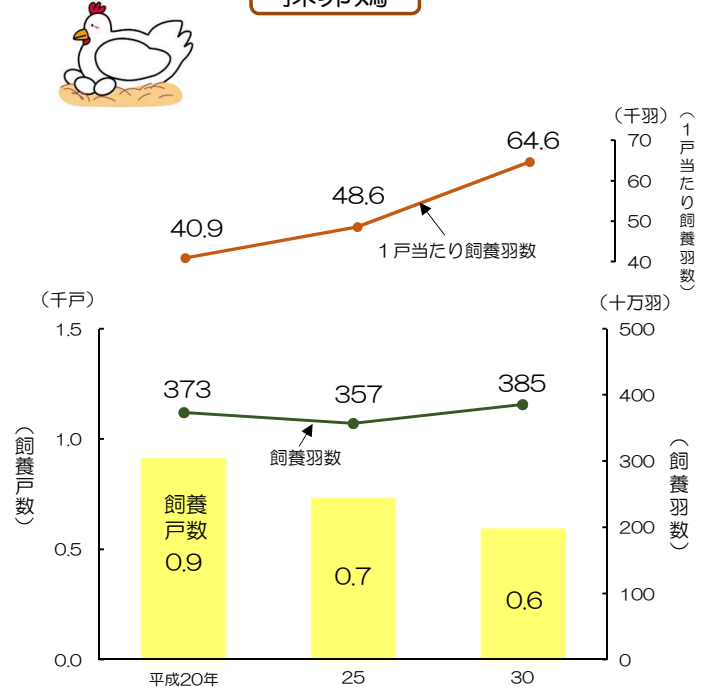
肉用牛



豚



採卵鶏



資料：農林水産省「畜産統計」

注：採卵鶏の飼養羽数及び1戸当たり飼養羽数は、成鶏めす（6ヶ月以上）である。

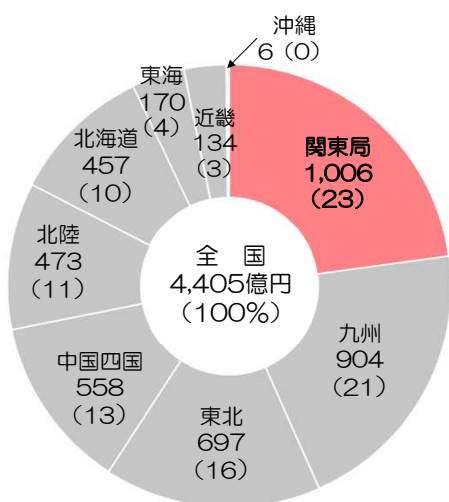
統計データからみる関東の農林水産業

11 関東農政局管内の林業

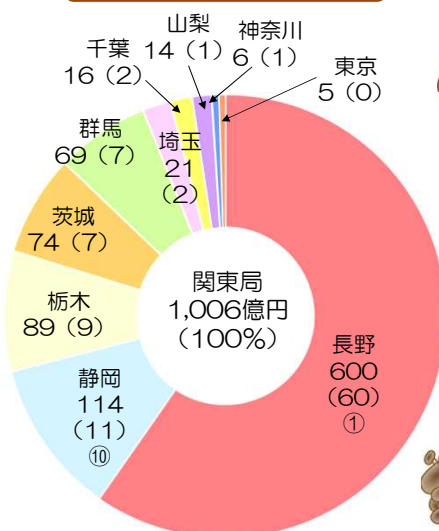
- 関東農政局管内の林業産出額（平成28年）は1,006億円と全国の約2割を占めています。
- 都県別にみると、長野県が600億円（全国1位）で最も多く、次いで静岡県が114億円（同10位）、栃木県が89億円の順となっています。
- 部門別にみると、栽培きのこと類生産が772億円と最も多く、次いで木材生産が223億円の順となっています。

林業産出額（平成28年）

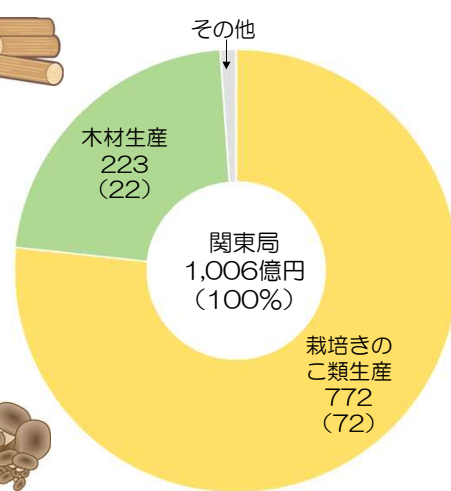
全国・農政局等別



都県別（関東局）



部門別（関東局）



注：この産出額には、パルプ用、まき、木ろう及び生うるしは含まない。

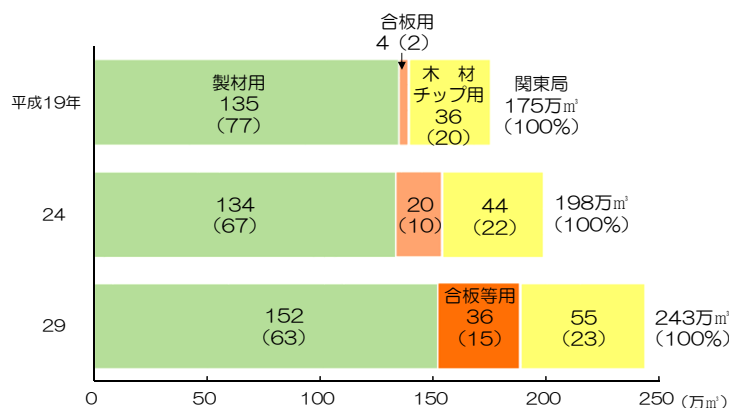
○数値は、都道府県順位です。

資料：農林水産省「林業産出額」

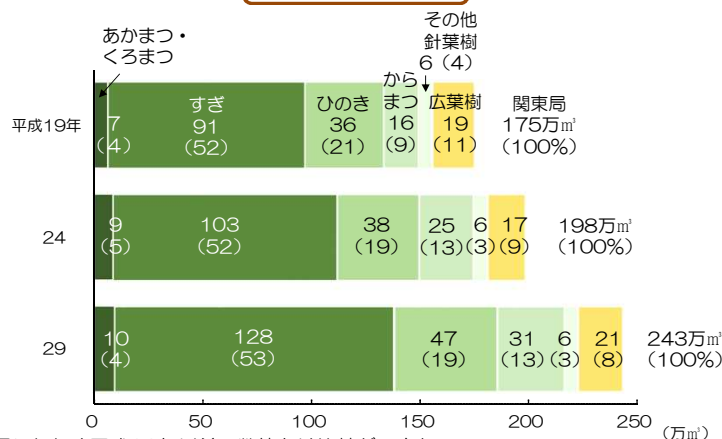
- 関東局の素材（丸太）生産量（平成29年）は243万 m^3 となっています。
- 需要部門別にみると、製材用が152万 m^3 で最も多く、次いで木材チップ用が55万 m^3 、合板等用が36万 m^3 の順となっています。
- 樹種別にみると、すぎが128万 m^3 で最も多く、次いでひのきが47万 m^3 、からまつが31万 m^3 の順となっています。

素材（丸太）生産量の推移（関東局）

需要部門別



樹種別



注：平成29年調査から、「合板用」を新たにLVL用を含めた「合板等用」に変更したため平成28年以前の数値とは比較ができない。

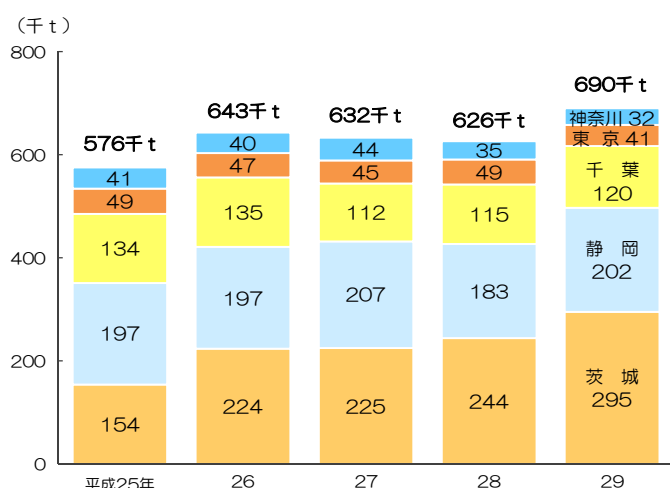
資料：農林水産省「木材需給報告書」

統計データからみる関東の農林水産業

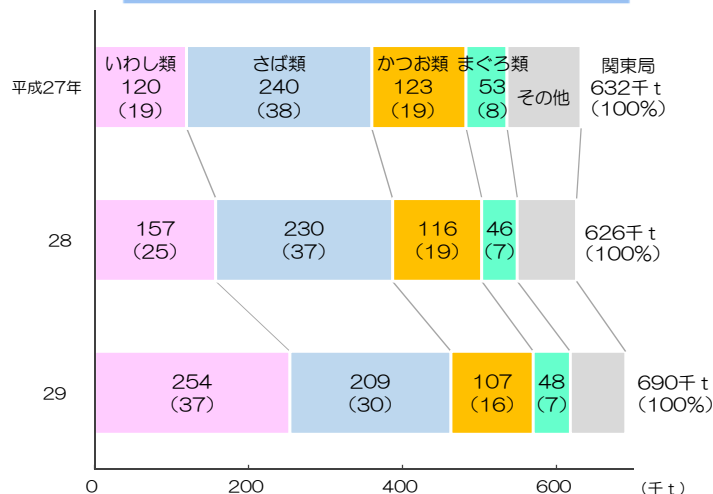
12 関東農政局管内の漁業

- 関東農政局管内の海面漁業漁獲量（平成29年）は690千tで、前年に比べ64千t（10%）増加、都県別にみると茨城県が最も多く、次いで静岡県、千葉県の順となっています。
- また、魚種別にみると、いわし類が最も多く、次いでさば類、かつお類、まぐろ類の順となっており、この4魚種で関東局の漁獲量の約9割を占めています。
- 内水面漁業・養殖業生産量（平成29年）は121百tとなっています。

海面漁業漁獲量の推移
（関東局）



海面漁業魚種別漁獲量の推移（関東局）



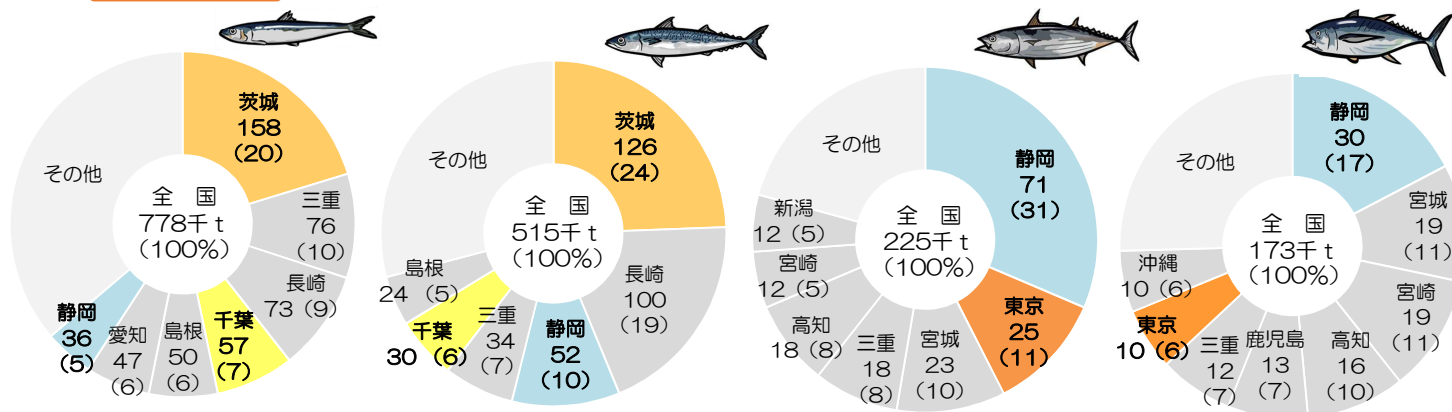
魚種別海面漁業漁獲量（都道府県別）（平成29年）

いわし類

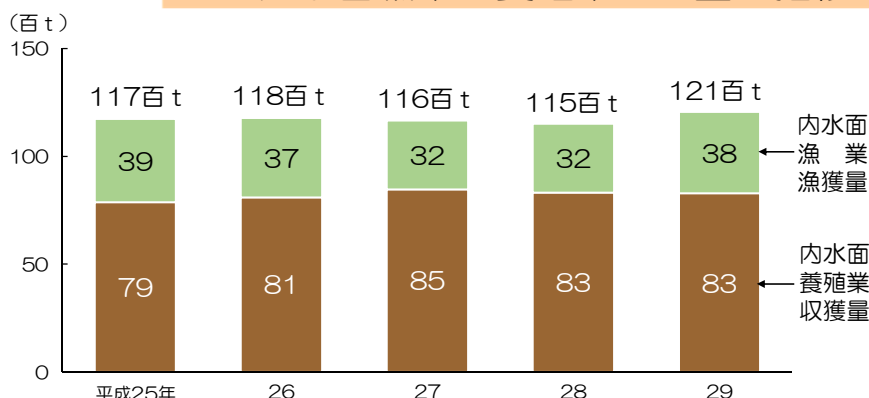
さば類

かつお類

まぐろ類



内水面漁業・養殖業生産量の推移（関東局）



内水面漁業とは、河川及び湖沼において水産動植物を採捕する事業をいいます。

内水面養殖業とは、一定区画の河川及び湖沼又は陸上において淡水を使用して水産動植物を養殖する事業をいいます。

注：内水面漁業の山梨県の結果については秘匿措置を講じているため関東局計には含めていません。

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

農林水産統計を御活用ください（１）

近年の情報化の進展により、ビックデータの活用が注目され、統計的アプローチによる企業経営の導入など、統計学がブームになっています。

地域の農林水産業の活性化を図る上でも、客観的な統計データを活用して、現状の把握や課題を抽出し、問題解決の糸口につなげることが効果的です。

農林水産省では、農林水産業の生産から流通・加工、いわゆる川上から川下まで、多岐にわたる統計調査を実施しており、その結果は、農林水産省又は関東農政局ホームページ等から御覧いただけます。

また、関東農政局統計部におきまして、統計に関する御質問や利活用に関する御相談等について承ります。

統計データはどこで見られるの？

農林水産省が実施している各種統計調査の結果は、**農林水産省ホームページ**や**関東農政局ホームページ**に掲載されています。

なお、農林水産省をはじめ国が実施している統計調査結果を一元的に利用できるよう「**政府統計の総合窓口（e-Stat）**」が開設されています。

（HPアドレス）

農林水産省＞統計情報

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>】

関東農政局＞統計情報

【http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/index.html】

政府統計の総合窓口（e-Stat）

【<http://www.e-stat.go.jp/>】

農林水産統計

検索

農林水産省のホームページでは、「農林水産業の分野分類」や「品目別分類」から必要なデータを探することができます。

【農林水産省ホームページ】

農林水産統計データ

公表資料

第1報、確報、長期累年のデータがご覧いただけます。

第1報：調査結果を速やかに取りまとめた資料

確報：調査結果の確定した詳細項目を取りまとめた資料

分野別分類	品目別分類
農家数、担い手、農地など	米（経営、生産、消費）
作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など	麦（経営、生産）
農家の所得や生産コスト、農業産出額など	いも・雑穀・豆（経営、生産）
農畜産物卸売市場	工芸農作物（さとうきび、茶など）（経営、生産）
森林、林業	野菜（経営、生産、市場・流通）
水産業	果樹（経営、生産、市場・流通）
6次産業化	花き（経営、生産、市場・流通）
農林水産物の輸出入	畜産（経営、生産、市場・流通、加工、その他）
農林水産行政等に対する意識・意向調査	加工食品（生産、市場・流通、加工）
その他（食料需給表、産業連関表、食品産業、環境など）	
農畜産物市況等（日別）	

地域の農業の現状や課題を把握したい

農林水産省が公開している「**地域の農業を見て・知って・活かすDB（活かすDB）**」は、**農業集落（全国約14万）を単位**として、農林業センサスや国勢調査等の調査結果、農業基盤情報基礎調査等の行政情報を加工・再編成したデータを提供しています。

地域農業や地域コミュニティについての多角的な分析ができ、併せて提供する農業集落境界データを地理情報システム（GIS）に取り込ませることで、地図情報として視覚化することもできる内容となっています。

（HPアドレス）

農林水産省＞統計情報＞地域の農業を見て・知って・活かすDB～農林業センサスを中心とした総合データベース～

【http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html】

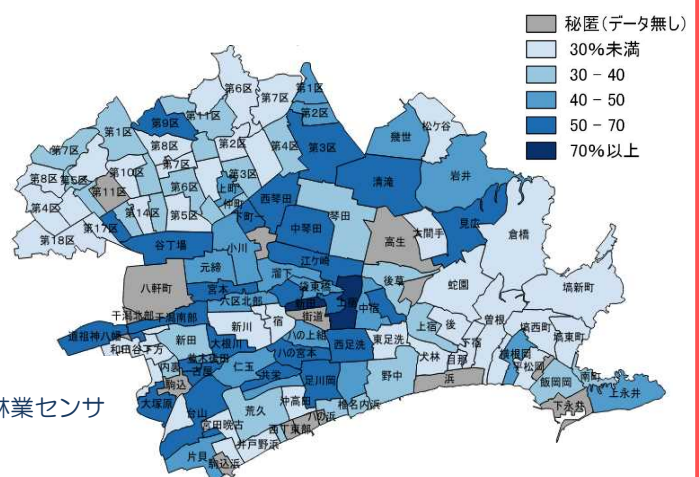


活かすDB

検索

【活かすDBを用いた分析イメージ】

農業集落別同居後継者がいる割合（千葉県旭市）



農林水産統計を御活用ください（2）

関東農政局では、関東の農林水産業についてグラフ等を用いて編集した「統計をみよう」や簡単な操作で地域の農業の現状が把握できるツールである「関東農業地域別データファイル」を公表・公開し、管内の農業関係者をはじめ、広く一般の方々に情報発信しています。

関東の農林水産業の特徴を知りたい

「統計をみよう」は、関東農政局管内の農林水産業の特徴が一目で分かるよう、グラフ等を用いて編集し、利用者によりわかりやすい形で提供しています。

平成30年度は、「関東農政局管内の農業産出額」をはじめ、11件程度公表する予定です。

（平成29年度は、麦・大豆、漁業、花き、6次産業、農業構造、畜産、果樹、野菜、米をテーマに9件公表しました。）

（HPアドレス）

関東農政局＞統計情報＞統計をみよう

【http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/toukeimiyou/index.html】

統計をみよう

検索

市町村や旧市町村単位の農林業センサス結果を簡単に見たい

マウスによる簡単な操作で農林業センサス結果による地域ごとの販売農家、農業経営体、農山村地域の状況を確認することができるツールとして「関東農業地域別データファイル」（Excel形式）を作成し、ホームページで公開しています。

都県、市町村、旧市町村の範囲を任意で選択すると、選択範囲内の農業経営や人、耕地等の状況がA4版2ページにグラフと表で表示・印刷することができます。

（HPアドレス）

関東農政局＞統計情報＞関東農業地域別データファイル

【http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kadf/index.html】

関東 地域別データファイル

検索

【統計をみよう】

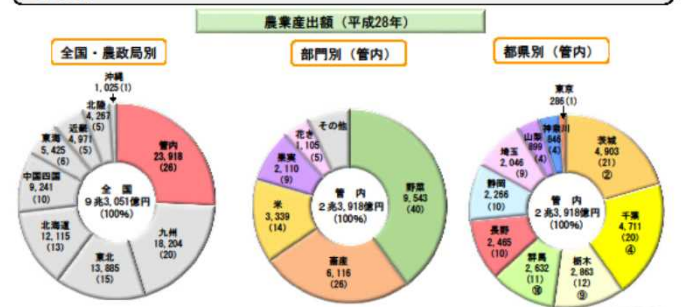
統計をみよう

関東農政局統計部
平成30年4月5日

関東農政局管内の農業産出額

1 農業産出額

- 関東農政局管内（以下「管内」という。）の農業産出額（平成28年）は2兆3,918億円で、全国の約3割を占めています。
- 管内部門別にみると、野菜が9,543億円（管内計に占める割合40%）で最も多く、次いで畜産が6,116億円（同26%）、米が3,339億円（同14%）の順となっています。
- 管内都県別にみると、茨城県が4,903億円（管内計に占める割合21%（全国2位））で最も多く、次いで千葉県が4,711億円（同20%（同4位））、栃木県が2,863億円（同12%（同9位））の順となっています。



注：1 全国及び管内の産出額は、都道府県値を積み上げたものである。
2 統計数値については、表示単位未満の数値を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。
3 「（ ）」内は、構成比である（以下同じ。）。
4 構成比については、表示単位未満の数値で算出しているため、表示上の数値で算出した構成比と一致しない場合がある（以下同じ。）。

【関東農業地域別データファイル】

関東農業地域別データファイル 経営体編

農林水産省関東農政局統計部

都県 市区町村名 旧市町村名

千葉県 旭市 旭町

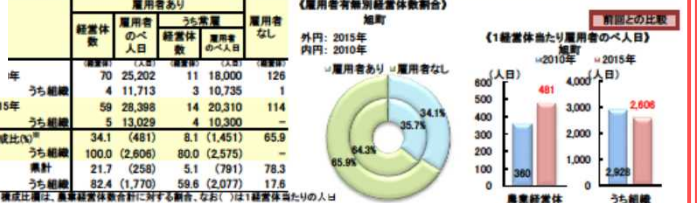
家経営体数

農業経営体数は173経営体で23経営体(11.7%)減少したが、組織経営体は変化なし。



農労働力(雇用者)

雇用者ありの経営体数の割合(34.1%)は1.6ポイント前年より低下し、1経営体当たり雇用者のべ人日(481.3人日)は121.3人日増加



皆様が関心をお持ちの統計に関する御質問や利活用に関する御相談等がございましたら、下記に御連絡ください。



【お問合せ先】

関東農政局 統計部 統計企画課

TEL：048-740-0058（直通）

FAX：048-740-0086